

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 ＊：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じやな い×)	異常 発現 後に 出現 した 症状	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	目覚までの 時間	一服して 完全回復	体温	息苦しさ	嘔吐 頻度	痙攣発作 の有無	痙攣発作 以外の 異常 発現	本人に対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作用	異常な行 動の 特徴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとど言っているのか？)	旧資料No
						2006/1/15	期、18:00	2006/1/14	夜 18:30															
56	B05023597	7	年	男性	異常行動	2006/1/15	期、18:00	2006/1/14	夜 18:30	○	—	5分	Yes	発熱持続	—	—	—	—	—	—	—	—	突然、「うわっ、うわっ」と大声(音声)を出し、目を閉じて両手を振り上げ呼び出した。驚いてよく飛び出しなくなった。警報に連絡し、連れて行ったところ近所の家にいるところを見、異常行動としての時間は約5分ぐらいのものであった。	39
57	B05023978	7	年	男性	異常行動	2006/1/13	19:00頃	2006/1/14	AM 1:00頃	—	—	数時間	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/01/13 (朝発熱あり、夕18時頃前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり、19時頃本剤服用、(朝)不明漢方服用。 2006/1/14 (1時頃漢方を半錠まで減らして、母が寝たかと思いついて、お風呂の準備のしかめよる動き。母と話しながら、急に呼び出して物が落ちる様子で叫び出して、外に走り出すようになり、お所に隠れようとしていた行動が2回あり合計の時間は計5分くらい)、家族が即座に、表急車乗、異常行動発現、(2:30頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし、痙攣障害なし、両眼は「まだ少し表情が」と、当院緊急外来内にて経過観察。(3:00頃)小児科診察時、意識清明、異常行動回復、肺炎、脳症の可能性も否定できず入院。	40
58	B05025721	7	年	男性	異常行動	2006/2/13	17:00	2006/2/13	22:00	○	Yes	5時間	1時間	No	発熱持続	No	No	No	No	—	No	—	2006/2/12 (午後38.7℃、倦怠感、嘔吐、近視にてインフルエンザ(-)、 2006/2/13 (午後38.5℃、近視にてインフルエンザA型と診断、タミフル処方、(17:00)タミフル1回目内服。その後入眠、(22:00)トイレに起き、顔面が赤み、階段を昇ったり降りたり、突然叫んだり音声をしたりした。体温38.7℃。 異常行動は約1時間ほど続いた。その後タミフル2回目内服させている(異常行動は認められていない)、痙攣発作はせず、経過観察している。 2006/2/14 朝より解熱。本剤は内服せず、いつよりお一人で寝てばかりいる。(夕方)近視受診し、タミフルの副作用疑いで当院紹介、経過観察のため入院。点滴療法(リタ3 500mg、ソリタ3 500mg×2本)元気が出てくる。インフルエンザ軽快。異常行動軽快。 2006/2/15 全身状態良好にて退院。	41
59	B05025722	7	年	男性	異常行動	2006/2/5	15:30	2006/2/5	18:30 17:30	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/2/5 (9:00)40℃の発熱、(12:30)前夜受診、インフルエンザと言われ、タミフル(80.1mg×2日)、セフェソ、ペリアクテン、解熱剤処方、(15:30)上記処方薬を内服。 (18:30)急に立ち上がり、ケケケと笑う。トイレにこもり大きな音を立てる。一旦入眠。異常行動発現、(17:30)話しかけても無反応。視線が合わない、フワフワして立てない、物がつかめない、(21:00)38.7℃、解熱剤服用、(23:00)当院受診。 2006/2/6 (15:30)退院入院、入院時、意識清明、異常行動なし、体温38.4℃。 2006/2/7 (日中)意識異常行動なし、痙攣、お後遺症に検査、MRI左側頭葉に高信号。 2006/2/10 異常行動軽快退院、外来での経過観察が必要。 2年前にも本剤服用あり、副作用はなかった。	42	
60	B00025421	7	年	男性	異常行動	2007/2/26	15:00	2007/2/26	17:30	×	No	—	10分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	—	No	—	2007/2/26 他院にて、A型インフルエンザに対して、タミフル処方、(15:00)タミフル40mg内服、(15:30)アセトアミノフェン内服、(17:30)突然立ち上がり、2階から1階に走り降りてきて部屋の中を走り回った。「おわい、こわい」と声を出しながら、うろうろ走り回った。母親が異常行動かないようにお話をしていた(約5分間)。次第に落ち着いてきて、入眠した。(18:35)当院緊急受診、そのときは既にいつもの状態にもどっていた(異常行動回復)、意識清明であったが入院して経過をすることとした。 入院後、水分補給の目的で点滴療法(リタ3 500mg×2回/日～2/27)、リレンザ10mg×2回/日(～2/27)を処方したところ、解熱、入院後、異常行動は全くみられなかった。(1回)体温:38.9℃ 2007/2/27 (3時)体温:39.1℃(7時)体温:37.7℃、退院、インフルエンザ軽快・回復。	43
61	B07002051	7	年	男性	異常行動	2007/3/12	11:00	2007/3/12	15:00	—	Yes	2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	—	—	3月12日(11:00)本剤服用、(15:00)ベッド上で寝れ、音声をあげる。母が原則し10分程度で眠れなくなった。(17:00)当院再診し、診断上音声をあげず不安定だが(指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答える。神経学的異常所見を認めず(「meningeal sign」-)、(復元)最高40℃までfever upするもせん妄、異常行動認めず、入院した。 3月13日(8:00)体温37℃台まで解熱、市によると、基礎体温はあるが、そのほか異常は認めなかったとのこと。	44
62	B07002056	7	年	男性	異常行動	2007/3/14	19:00	2007/3/15	1:30	○	Yes	—	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	No	—	No	—	3月15日(1:30)異常行動発現、起き、2階の階段を下りようとして、その途中階段を踏み飛ばし、母親が階段から落ち、音声をあげた。母はその後父親に抱きつき、そのまま眠ってしまった。	45
63	B07002358	7	年	男性	①嘔吐 ②異常行動	2007/4/11 2007/4/12	夕 16:00	2007/4/12	14:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/4/10発熱。 2007/4/11 (夕)タミフル40mg内服、嘔吐(嘔吐音不明)発現。 2007/4/12 (2:00)タミフル40mg内服、(4:00)寝た。大きな声や上げながら部屋から飛び出す行動(異常行動)発現、(8:00)本剤80mg内服。頭痛、異常行動(天井を見える)。当院受診、(入院時)異常行動は軽微されていない、異常行動軽快。	調査不可
64	B07011933	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	期 夕	2007/3/22	12:00	×	—	—	—	—	解熱過程	—	No	—	No	No	—	—	0004/08「入院後、蛋白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くらいあった」と来訴。血液検査：正常。 0004/09 脳部MRI：正常。EEG：頭頂部を中心に高振幅、sharp & wave 発現。年齢とともに減少しており、発作回数を減らすことに、その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回目服用、(12:00)退院調査、大声を出す(異常行動)発現、(18:30)タミフル2回目服用、(20:00)退院調査、大声を出す。目つきがおかし、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走ると母が抱きとめて制止。	47
65	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 意識消失 意識消失	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	夕 期 夕 期 夕 期	2007/3/26	昼	×	—	—	—	—	解熱過程	—	—	—	—	No	—	—	2007/3/26夜 外に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態や(夕)少した。2時間後30分間の意識消失発作。(夜2-3時間の意識消失発作。意識がしてなかった。意識は続いた。興奮して寝れない状態になった。	48

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時		就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱直 後に発熱	就寝中の場 合、就寝時 期から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	経過	患者の記憶	観察者(主治 等の医師)	観察者(家 族等)	先に対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作用	異常な行 動の発現 する日付	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどまっているのか?)	田資料No		
						2007/2/10	—	2007/2/10	—																
66	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、発熱後に異常行動発現(非重 重)。ベランダの方へ歩き出し、壁が取り押さえ大事に至らず。左右どちらにも倒れ て、腕のわからないこともあったとのこと。	49	
67	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝 夕 朝 夕	2007/3/24	夜	○	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	No	—	無	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発熱(自他 質所見:発熱38.3℃/3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。 2007/3/24 (夜)本剤内服、異常行動発現(非重篤)。睡眠中、ムクッと起きて2階に駆け 上がった。壁につられて壁かたが下りてきて、すぐに寝た。 本剤投与中止。 2007/3/28 インフルエンザ回復	50	
68	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	19:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	16:00	×	—	—	6時間	Yes	解除過程	No	No	No	No	No	—	無	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱があったが、元気に過ごしていた。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.8℃、いつもより痛みが感じ ない感じが あった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃、布団でテ レビを見ていて、すごいスピードで突然ITとITを何回も押し戻り、理解できない強 迫感を感じた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り押さえ、事なきを得た。こ の時の記憶は残っていない。理解できないほど口を口走っていた。(16:00)症状回復。 徐々に痛みが軽減した。(20:00)前日と比べ、症状安定したため、予定通り本剤 40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	51	
69	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/19	—	×	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	No	—	無	2007/3/19 インフルエンザに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服 用後1時間して意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。壁がかかって本人 プツプツしてあけられなかった。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	52	
70	B07013377	7	年	女性	異常行動	2006/2/21	—	2006/2/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2006/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いて あったテーブルの上に乗ってへらへら歩いていたとのこと。	53	
71	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 不安	2007/3/5	19:00	2007/3/5	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00)本剤40mg×1日/日 の投与開始。(20:00)精神神経症状(幻聴、幻覚、せん妄発現(非重篤))、「こわい」学校へ 行く等、不可解な発音と、突然立ち上がり、外へ出て行くこととする行動あり。調剤薬局 へ電話が入り、監視と、症状が軽くなれば急病室への受診を指示、本剤中止指示。(夜) 他院受診。受診時特に問題をみとめず、解熱剤を用いた処方を受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)当院再診。夜間も症状持続し、歩おが不安定であったというが、 本診時は消失していた。一方、鼻汁、唾液、涙液をこめ、ホケリナーゼ1mg/日、ボララ ミンDS 2.5g/日分3、アスベリン10% 0.4g/日分3を処方した。以降受診なし。回復し たものと思われる。	54	
72	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	—	—	—	—	Yes	—	—	Na	Na	Na	No	—	—	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 38.3℃の発熱で来院、インフルエンザAと診断。以前、急性痙攣を 起こしたことがある。脚白アトピーが強いので、インフルエンザの予防接種は不可 能。 本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くかと母親は思ったが、玄関に向かっている 。その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、痛しくれ と叫び、腕など握られた。異常行動 発現。 母親が母に電話し、泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの?」と言った。 異常行動 回復。 母親がそのとき抱きかかっていた感覚はなかった様子。翌日から本剤投与中止。	55	
73	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝 夕 朝	2007/12/15	19:00-20:30	×	—	—	1時間30分	Yes	解除過程	No	No	No	No	No	—	No	無	2007/12/15(19:00-20:30) 睡眠中、突然立ち上がり、部屋内を歩遊するように歩き 回った。	56
74	B07023857	7	年	男性	異常行動	2008/1/29	12:30	2008/1/29	13:50	○	Yes	—	—	Yes	発熱持続中	—	—	—	—	—	No	—	無	2008/01/29 (12:30)本剤内服後就寝、体温:39.3℃、(13:50)起きてトイレに行った。母 親に怖い夢をみたと言っていた。 トイレから帰って又、度たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわて て母親が止めて支障させた。異常行動 発現。 本剤服用は1回のみ。	57
75	B07025434	7	年	男性	異常行動	2008/2/12	13:00	2008/2/12	—	○	Yes	30分以内	2時間	Yes	不明	No	No	—	—	No	—	—	無	2008/02/12 (11:30)39.2℃。 (13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤64mg投与。 (13:30)息災が入眠したことを母が確認した。約30分後に屋外に立っているところを 発見された。うつろな目でボーとしていた。尿失禁を伴って、風呂場へ行ったところ「靴 下のほつれが怖い、洗濯物が怖い」と泣いた。異常行動(非重篤)発現。シャワー浴後 に就寝した。 (16:00)異常行動回復。	58
76	B07026155	7	年	男性	異常行動 幻覚	2008/2/4	12:00~16:00	2008/2/4 2008/2/4	22:00 16:00	○	—	1hr	数分	Yes	発熱持続中	No Yes	No	Na	—	—	—	—	血友病	2008/02/04 (午後)インフルエンザA型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)昼寝 前、目が覚めると、と書いて覚醒する。幻覚(非重篤)発現。(22:00)朝声をあげて走りま わる(非重篤)。 2008/02/05 (朝)解熱。正常に寝る。奇声をあげて走りまわる。幻覚回復。 2008/02/10 インフルエンザ回復。	59

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中じゃない×)	発症直 後に発症	観察中の場 合、投与時 刻から発症 までの時間	回復までの 時間	一服引いて 完全回復	体温	患者の記憶	観察看護等 の対応	観察看護 等での薬 投与	発熱に対する 対応	追加による 「異常な行 動」の動作 出現	異常な行動 が再発した か	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見たか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたか？と聞いているのか？)	旧資料No
77	B07028194	7	年	男性	譫妄	2008/1/18 午後	2008/1/18 夜	○ 入眠過程	-	-	-	Yes	-	Yes	No	-	-	No	-	2008/01/17 (午後)インフルエンザ発症。体温38.5℃。 2008/01/18 (午前)体温38.2℃。(午後)インフルエンザAに別して、本剤80mg、カロナールを服用。体温38.4℃。(夜)譫妄発現(非重篤)。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暑くない」などと口走ったため1日だけの服用で全ての服用を中止。体温不明 2008/01/19 (朝)平熱となる。 2008/01/20 (昼)発熱のほかに早飽。同症状は19日、20日、21日の毎夜出現(原因は異常なし)。 2008/01/22 (夜)寝になると何回も起き上がり、「寝れない」と口走り、部屋のなかを走り回って「壁のなかでダンベルが出てくる」と言い、顔紅していたが、目の前の母親をばたきまわるところを見ていた。 2008/01/23 再診、36.8℃。本人は「なぜかわからないが暑くなった」とのこと。 2008/01/24 再診、前夜はぐっすり寝り、何も起こらなかったとのこと。	
78	B08000402	7	年	男性	異常行動	2008/2/20 1日2回	2008/2/21	○	Yes	-	①しばらく ②15分 ③23:50	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2008/02/21 (1:00頃)異常行動(非重篤)発現。母親が横に寝ていたにもかかわらず、急に起き上がり「お母さん」ときんで走り出し、壁にぶつかって顔面を激打した。しばらく泣いていたが、抱っこしてそのまま入眠。38.3℃。 (14:00頃)異常行動(非重篤)発現。「椅子がうるさい」と言ったので、すぐに椅子を倒したが、「倒していない」と言って椅子の裏面を指でがりがりとひかいて、突進し泣いたり、目が覚めておぼろつきで2~3分毎15分くらい泣いた。その後入眠。 38.5℃ (22:00頃)起床。 (23:50頃)異常行動(非重篤)発現。睡眠中に「どうしてお母さんはそんなに大きいんだ」と語りだした。母親が身体を丸くして小さくしていたが、驚いたり泣いたり、立ち上がったりを15分くらい繰り返して入眠。37.8℃ 2008/02/22 (6:30)異常行動回復。	
79	B08024158	7	年	男性	異常行動	2008/12/4 2008/12/5	2008/12/5	○	Yes	-	①3:00 ②15:00	Yes	発熱持続	①なし ②あり	No	No	No	No	-	2008/12/05 (3:00頃)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。突然起きだし人を追いつくような動作とともに家中を逃げ回った。階段の昇り降りや歩数を繰り返して、母親が制止しても逃げ回ると叫んでいた。しばらく母親が介抱したら、大人しくなって寝た。患者の記憶なし。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復 (8:00)本剤投与。 (15:00)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。「虫がいて怖い」と祖母に伝え泣いていた。家中を走りまわらず歩き回っていた。祖母に介抱されておとなしくなった。患者の記憶あり。 (17:00)医師に紹介され、副産物の多いとすることで副作用以外に入眠も勧められたが、本人、患者家族の希望で、自宅投与。本剤内服は以降中止している。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復	
80	B08027285	7	年	男性	異常行動	2008/12/25	2008/12/25 2008/12/26	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/12/25 (午前)インフルエンザ迅速検査でA陽性。3歳児本剤内服歴あり、異常なかったため処方。 (昼)50mg1回内服して急におきあがり机のまわりをぐるぐるまわる、コップわたすと水に手を入れる、ふとんの一点をみつめている等の行動あり発現(医師重篤度不明)。 2008/12/26 寝ていたが急におきあがり机のまわりをぐるぐるまわる、コップわたすと水に手を入れ、 2008/01/17 インフルエンザ(A)に対し本剤投与。 2日服用後、異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。わけもなく物を掴まわると、トイレに行くと水のみ出す。寝静に手を入れ何とかとうとう寝た。た。以前から発熱しやすそうとなったりフツンの上のみで何かをさがそうとするような行動があった。ただ今回はいこれまでと違う印象を強く受けた。	
81	B08027730	7	年	男性	異常行動	2009/1/17	2009/1/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がると2~3回転んだ。その他うらむ、手のふるえなど。 2008/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋にいった。トイレではないといい、隠れただけだとか人か安全なことを言っている。 異常行動の転帰：不明	
82	B08028876	7	年	男性	異常行動	2009/2/1~	2009/2/1 2009/2/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がると2~3回転んだ。その他うらむ、手のふるえなど。 2008/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋にいった。トイレではないといい、隠れただけだとか人か安全なことを言っている。 異常行動の転帰：不明	
83	B02014446	8	年	女性	情緒状態	2003/1/17 2003/1/18 2003/1/19 2003/1/20	2003/1/19 2003/1/20	-	No	-	No	No	-	-	-	-	-	No	無	2003/1/15 発熱38.8℃。他院受診しバナン他が処方された。 2003/1/18 当院受診。鼻汁、痰、嘔吐、上肢痛、喉痛、喉あり。インフルA抗原キットにてインフルエンザウイルスは検出されなかった。タミフルドライシロップ1.5g/日、ユナシン、アスピリン、ムコダインが処方された。 2003/1/17 タミフル剤服用。 2003/1/19 タミフル剤服用。異常なオチャメな感じであった。母親によると、寝る間も泣きだすとのこと。 2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかけバナーと書いて入った。目を閉じても寝ない。口をたたく。このときの体温は38.4℃でありインフルエンザは回復していた。全身状態は良好であった。朝の発熱にて本剤を中止した。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。 2003/1/22 ユナシン、アスピリン、ムコダイン中止。 2003/1/23 タミフル剤服用は回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：総投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例  
 \*：総投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中心×)	夏期 便に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	就寝までの 時間	一服して 完全回復	体温	悪臭の記憶	嘔吐嘔吐 等の悪性	痙攣発 作等の 悪性	発熱 に対する 反応	他剤による 異常な行 動の発現	異常な行動 に関する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	旧資料No
84	B05000677	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28 10:00-22:00	2005/3/28 17:00 12:00 22:00	×	No	-	数時間 2~3時間の 間に2回	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2005/03/28 (3:00)昨日の発熱のため、近医受診しインフルエンザAと診断。(10:00)帰宅後、タミフル内服。(12:00)変な事を口にした。(睡にそぐわない意味不明な発言)悪性嘔吐、行動異常が出現。(17:00)上唇のピクピクと意味のない指差運動出現。(18:00)近医再診したが、神経学的異常徴そのままだと診断で帰宅。(22:00)23:00内服。その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。以降、本剤の投与を中止。 2005/03/29 (1:30)当院緊急外来受診。応答は可能であったが、舌のめくりやめくり返しを繰り返す等の異常運動認め、入院。ソリナツとグリセロールにより、輸液開始。(8:00)異常運動消失し、神経学的にも正常所見。	58	
85	B05001224	8	年	男性	幻覚 落ち着きのなき 異常行動	2005/3/18 10:30	2005/3/18 13:30	×	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/03/18 (午前中)受診。インフルエンザAと診断。(10:30)インフルエンザA治療のため、タミフル5mg×2/日投与開始。その後入院。(13:30)発熱退後から幻覚などの異常行動が出現。怖い思いと聞いてくると外に出ようとする。当日中に再度受診し、生食点滅にて症状回復。	57	
86	B05018854	8	年	男性	異常行動	2005/11/13 11:30	2005/11/13 内服1時間後	○	Yes	1時間	18時間	Yes	解熱過程 →	No	No	No	No	No	午睡後、突然起き上がり玄関から飛び出してこうとしたため、母親が玄関前で足を刺した。その間に、本人及び兄の名前を尋ねるも全く答へられず、うなり声をあげたりと不穏状態を呈していた。(その後1時間程度)医師の指示を受け、母親がおおよそ1時間程度の中からお出ないよう注意を払っていたところ、徐々に異常行動も抑制され、次第に記憶も回復してきて、翌朝まで経過。翌朝後で発現。	59	
87	B05021859	8	年	男性	異常行動	2005/12/25 18:00 1日2回 1日1回	2005/12/25 21:00	-	-	-	10分	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2005/12/24 (夜)発熱。 2005/12/25 (14:00)インフルエンザAと診断。タミフルライシロップ5mg×2回/日処方。(16:00)本剤1mg、ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(20:30)ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(21:00)人形に話しかける。部屋を歩き回る。意味なく笑い出す。九九を唱えるなどの異常行動が出現し、救急車要請(持続時間10分)。(21:20)来院時、意識はほぼ清明(JCS 1-0)。入院。 2005/12/26 解熱。 2005/12/27 退院。 2005/12/29 本剤服用後、投与終了。	58	
88	B05022380	8	年	男性	異常行動	2006/1/16 13:00	2006/1/16 16:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(16:00)将声を上げる。意味不明な事を言う。数が数えられない。自分の年齢がわからない。異常行動出現。(20:00)当科入院。入院時異常行動なし。点滴のみで経過観察。2006/1/17(1:00)自分で点滴抜き。病室内一人でウロウロ歩く。その後入院。以降症状なし。	60	
89	B05022780	8	年	男性	①意識 ②異常行動	2006/01/30 朝、20:30	2006/01/31 0:00、6:00	○	Yes	2.5時間後、 5時間後	12時間、8時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2006/1/30 インフルエンザAのためタミフル40.5mg/2/日投与開始。(20:30)顔目のタミフル服用。39.6℃。(21:30)解熱。 2006/1/31 (0:00)急に大声でわめきながらおきる。父母が話しかけても返事もせず。目を大きく見開き普通ではない状態。「行こう！行こう！」と大きな声で言いながらベッドや机、椅子の上にも飛び乗って走り回る。父母が抱いてはだめてはくたよ！おいで！と強引に押さえて背中を歩かせる。歩き方異常歩きの方に両手を大きく振って歩く。(0:15)中々だめて水分を飲んでベッドに寝かしつける。ウトウトする。(0:40)お度が高いと起き下り。38℃。矢張り起きた時の事覚えていない。(1:00)ウトウトしては泣いて起きる。(6:00)「ごめんね。ごめんね。…」と小さい子のようなかわいいう声で言い続ける(普通のとときの声ではない)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ホーッとしている。38.8℃。本剤服用中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から18~18時間程度続けた。	61	
90	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00、18:00	2005/12/21 12:00、 14:00、18:00	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	-	-	-	-	(12:00)二段ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって良が動ず。意味不明の言葉をブツブツと言う。何度か呼びかけると正気に戻る一歩込む。(14:00)起きると再び意識障害ありトイレに行くと言っていてトイレの中で尿失禁一歩込む。(18:00)本剤服用。起きると意識障害あり(-)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤)発現。	62	
91	B05025720	8	年	男性	異常行動	2006/2/1 21:00	2006/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/1 (朝)から発熱。(午前)近医受診。インフルエンザAと診断。タミフル処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:30)カタカタ笑う。両手で何かを握もうとする。異常行動出現。(22:30)救急車で来院。入院。JCS0-1。嘔吐を間違える。(夜間)ベッド横をのり踏ようとしていた。意味不明な言葉を発する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(1日)中絶。MRI→異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外発で経過観察の予定。	63	
92	B05026722	8	年	女性	精神症状	2006/01/19 夕方	2006/01/19 2006/01/20 深夜、夜間	-	No	-	数分~数十分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	2006/1/19 発熱。38.8℃。咳。咽頭痛発症が認められたためインフルエンザ確定診断実施。結果、Flu A、サンプル、鼻液 (夕方)本剤投与。(54mg/日) (深夜)40℃の発熱とともに2回嗚声をあげて起き上がり室内を歩きまわった。中枢神経症状発現。(非重篤) 2006/1/20 (昼)37.5℃前後の発熱で同様の症状がみられた。本剤は朝より投与を中止している。(夜)他院受診。シムメレルを処方された。(夜間)うろたえを言った。(体温不明) 2006/1/21 (朝)中絶。中枢神経症状はみられていない。39.5℃ 2006/1/23 来院時37.0℃。咳、鼻症状、結核菌あり。中枢神経症状回復。 2006/1/25 来院時35.2℃。咳、鼻症状あり。インフルエンザ回復。	64	
93	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 2007/2/24 夜間	2007/2/23 2007/2/24 投与3時間後	○	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	-	No	No	急に起き上がり「トイレ、トイレ」と叫びながら走り回るため押さえる(5~8分程度)。寝たまま尿のわかないことを言うので、様子を覗くと「さわる」と言われて鼻を刺される。	65	



No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	キミフル 服用時刻	異常な行動発現時 時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	本剤服用 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	就寝までの 時間	一服取り 完全回復	体温	患者の記憶	観察者(親 等)の既往	観察者(親 等)の家族 歴	本人に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用	異常な行動 の副作用 との関係	異常行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に幻覚を見たか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと答えているのか?)	旧資料No
103	B07013400	8	年	男性	異常行動	2007/3/5 14:30 2007/3/6 8:30 2007/3/6 21:00 2007/3/7 21:00	2007/3/6 1:00	×	-	4hr 2時間	Yes	解熱過程	-	No	No	No	No	No	無	2007/3/5 インフルエンザA型発症のため、本剤投与開始(45mg×2/日)。 2007/3/7 (21:00)38.4℃の発熱があり、本剤45mg内服(6日目)後、入眠した。 2007/3/8 (1:00)ぶつぶつとつぶやきながら歩き回っていた。母が気がつく、引き戸 のロックを外してベランダを出ようとした。母が声をかけると止まった。その時点で 体温38.4℃と解熱していた。話をするうちに泣き出した。「お手を割、お手を割」と 言っていた。「預けている物が部屋の奥の中に入っている。ベランダにあるお皿、ペラン ダに出ようとした」と言っていた。異常行動(非重篤)発現。(5:00)次第に落ち着いて入眠 した。異常行動回復。 2007/3/8(朝)起床時は異常なかった。本人は前日のことをかなり記憶していた。患児 はマンション下に居住していた。インフルエンザ感染。	75
104	B07020498	8	年	女性	異常行動	2007/11/29 17:00 2007/11/30 朝 2006/11/30	2007/11/29 22:00	○	Yes	5時間	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	No	2007/11/29(午後) 39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキ ットにてA型インフルエンザと診断。(17:00)1回目本剤内服。その後寝ていた(22:00頃) 睡床中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「ババおかし」と言った。 2007/11/30(1:00頃) ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫 ?」と声をかけたら「うん」と言った。(朝)いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。 医学的処置をせずに自然軽快。	
105	B07020966	8	年		異常行動	2007/12/11 夕	2007/12/12 1:00頃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/12/11 診察時にも尿の分らないことを言っていた。 夕方に本剤を1回服用後、夜中1時頃に走り出した。 その時に膝が痺らせて、止められた。	
106	B07021970	8	年	女性	異常行動 幻覚	2007/12/11 朝	2007/12/11 (午前)	○	Yes	1時間	-	-	解熱過程	-	-	-	-	-	No	2007/12/10 姉がインフルエンザA型発症中のごとく、起床時37.8℃発熱ありのご とで、午前9時過ぎ来院。迅速検査で陰性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑 う。 以前、本剤内服歴あり。家人が希望したため、本剤処方。終日発熱は37℃台で、本剤 は内服させなかったとのこと。併用薬のみ内服。 2007/12/11 起床時、40℃にて本剤内服。併用薬も内服。その後入眠。1時間後、「姉 が落ちて来られないと泣きながら自室より出てくる(姉は登校後)、家人が落ち着くよ う諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の内服中止を指示する。 2007/12/12 電話にて、以後の異常行動のないことを確認する。	
107	B08004441	8	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	2007/3/16 深夜	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	不明	No	-	生疾患による	2007/03/15 インフルエンザA型と診断。本剤服用開始。 (深夜)突然起き上がり、急峻な行動あり。枕に顔をぶつけたりしていた。更に夜中 起き上がり、1人でどこかに行こうとしていた。母が気がつき布団の中に入れてすぐに 寝た。 2007/03/16 本剤服用したが異常行動は見られず。3/15時点で回復と判断。	
108	B08024887	8	年	女性	異常行動	2008/12/8 昼	2008/12/8 -	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	-	2008/12/08 異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。翌に本剤を服用後に寝ていた患者がふらふら と立ち上がり部屋の外に出たところを患者が発見。病室に連絡しベッドに連れ戻す。 寝かした後は特別なことはない。特に叫んだりといった行動は伴わなかった。 異常行動の転帰:回復	
109	B08027726	8	年	男性	異常行動	2008/1/17~ 2009/1/21	2008/1/18 12:00	×	-	-	12時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	-	2008/01/17 インフルエンザ治療のため本剤50mg×2回/日投与開始(→2009/01/21)。 2008/01/18 (12時)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。壁より室内をうろつく始め。「人がい る」「ぞうきんで歩いてる」「い」などの異常言動。幻覚があり、体温計をとんきた たり、電気コードをぐるぐる回す手にまきつけたりした。 (24:00)異常行動の転帰:回復	
110	B08027896	8	年	女性	異常行動	2008/1/20 10:00	2008/1/20 15:00	○	Yes	-	3分	Yes	解熱過程	-	-	-	-	-	-	2008/01/20 (10:00)本剤1回目内服。 (15:00頃)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。壁を歩いて突っ走り、壁をさすりし て「今日は何日だっけ?」と言ってとりにいた鳥をみて、窓が閉まっていると泣 く。その後かけ出してリビングルームに行き、幼稚園がどうのこうのと意識不明のこ とを言い、目つきがおかしかった(空白?)。その後物をつかうような動作を反復し、何 をしているのかと聞くと、本人は背を抱いていると言って「何でそんなこと聞くの?」と泣 いた。その後泣き止んでソファに坐りいつと変わらない様子になった(この間2~3 分の経過のこと)。	11
111	B08029997	8	年	男性	異常行動	2008/1/29~ 2009/1/31	2008/1/29 2008/1/30 昼 午前4時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/29 (昼)本剤服用(一回目)。 (一時間後)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。熱が39℃の状態で、怖いとうわごと を言い、急に笑いだした。 (22時)本剤服用(二回目)。 2008/01/30(午前4時)突然におきたしんがれを繰り返すようになり、切れて落ち着いた。大声で笑ったり、異 常行動になった。 (朝)本剤服用(三回目)。その後、異常行動はおこらなかった。 異常行動の転帰:回復	12
112	B0809384	9	年	男性	異常行動	2007/2/2 2007/2/3	2007/2/3 20:30	×	No	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	-	2007/02/02 (17:00)発熱38.4℃。本剤50mg×2/日投与開始。 (20:30)父親のことを「いい」と言ったり、自分の名前と父親の名前を間違えたり、 (11:45)と書いた。その後部屋を出て、いた行き、さかんに足をさすっていた。 呼びかけに対して不正確な対応(異常行動)非重篤)発現。 (21:30)異常行動回復。 2007/02/03 (8:00)本剤2回目服用。 当院受診するも神経学的異常は見られなかった。本剤服用中止。	13

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名等	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	状態中か否 か (状態中○、 状態中ではない×)	覚醒後 速に発現	状態中の場 合、状態時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	体温	患者の記憶	意識障害等 の既往	既往症 等の既往	発熱 発熱	他剤による 異常な行 動の副作用	異常な行 動を 発現した 事例	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかどうかと書いてください)	旧資料No
113	B02002847	9	年	男性	譫妄	2002/2/26 12:00	2002/2/26 13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(川崎病) 投与前日 インフルエンザB型発症。 投与前日 10:00頃 当院にてインフルエンザ迅速検査で陽性と診断される。12:00 頃 タミフル75mg/日、ムコダイン、アストミンを服用。13:00頃 意味不明の発言や行動 をとり始めた。この時発熱なし。15:00-16:00頃 田舎し、正常状態となった。本人にこの 時の記憶なし。以後、タミフルの内服は中止。ムコダイン、アストミンは投与継続(一投 与4日目) 意味不明の発言や行動をとり始めた。この時の記憶なし。 2003/3/10 健診、後嗽、頭痛あり、A病状受診。上気道炎と診断され、フロモックス、 ダーゼンを処方された。 2003/3/14 健診継続し、同病再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床的にイン フルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 退熱しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服用中 止。 2003/3/17 同病再診。ソルナム1点検中、突然意味不明の発言や行動が見られた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、脳科CT、髄液検 査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行い経過観 察としたが、同日も異常行動あり。翌日より退熱し、正常状態となった。 2003/3/20 徐々に活発改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。 2005/3/8 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服用。 (23:00)「おかしい」「ふとんをかぶると肌かムシムシする」歩き回り、パニック状態とな る。「おかみえる」「富に老人がみえる」 2005/3/8(12:30)自宅から他院へ救急車で搬送。受診時は意識清明。体温 38.8℃。本剤投与中止。(13:00)同病。当院小児科外来再受診。37.8℃。意識清明。理 学所見上の異常は認めない。本日より薬物内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで経過。	76
114	B03005858	9	年	男性	①意識レベルの低 下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 1日2回 2003/3/15 1日2回 2003/3/16 1日1回	2003/3/16 --	-	-	-	No	No	発熱中から 解熱後も持 続	-	No	-	No	No	無 2003/3/17 同病再診。ソルナム1点検中、突然意味不明の発言や行動が見られた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、脳科CT、髄液検 査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行い経過観 察としたが、同日も異常行動あり。翌日より退熱し、正常状態となった。 2003/3/20 徐々に活発改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。 2005/3/8 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服用。 (23:00)「おかしい」「ふとんをかぶると肌かムシムシする」歩き回り、パニック状態とな る。「おかみえる」「富に老人がみえる」 2005/3/8(12:30)自宅から他院へ救急車で搬送。受診時は意識清明。体温 38.8℃。本剤投与中止。(13:00)同病。当院小児科外来再受診。37.8℃。意識清明。理 学所見上の異常は認めない。本日より薬物内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで経過。	77
115	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 11:00 2005/3/7 21:00	2005/3/7 23:00	-	No	3.5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	-	Yes	有 2006/2/5 (夕方)発熱あり。 2006/2/8 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。急性意識障害の既往あり。本剤 を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg)1回を内服し、鼻閉で寝た。(14:15)突然起き上がり、 「おかし」「おかしい」「はすかしい」「はすかしい」と言いながら、着衣を脱ぎ「上げにのこい」 と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出すような動きがあり、大人4人で押さえた。 せん妄発現。10分位で落ち着いてきたが、その後再発。15:00再来時には意識清明 となったが、念のため入院とした。以降、せん妄発現まで観察せず。(17:15)話しかけて も会話が成立しない。せん妄発現。(21:15)寝る事を言う。視線が合わず会話不成立。 手足をばたばたさせる。尿失禁。せん妄発現。CT実施。異常なし。臨床検査(血清上、 フィブリノゲン265、FDP1.9、D-ダイマー-0.2、CRP4.8、BUN14.1μg/l)、血清高遊離チ トロンビン(49%)、第Ⅴ因子49%、第Ⅷ因子9%の減少を認めた。時刻は不明であるが、 状態。 2006/2/7 (12:25)急に産物になる。口をくちやくちやくと「うーん、うーん」と言い、目 は開けているが視線を合わせない。立ったが足元からふらつき、ポータブルトイレで用 をたし。「こわい、こわい」「はすかしい」「はすかしい」と言う。せん妄発現。(13:30)窓の口 角をつまみ上げ開閉して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。(14:30)急に起き上がりて目 しかけてもまぶたを閉じる。尿失禁。せん妄発現。6000ccに水を上げて、言葉が通じな い。ポータブルトイレにて嘔吐する。せん妄発現。(正午)体温37.0℃台となる。本剤 中止。シスゲン250mg×3回/日、ヒベンズ酸チベジン20mg×3回/日へ変更し投 与開始(〜2/13)。MRG実施：異常なし。時刻は不明であるが、状態。 2006/2/8 (0:21)排尿する時に2分くらい「ぼー」としていた。計7回せん妄発現した が、いずれも自然軽快した。 1日当たりの持続時間:2〜10分間。体温38.0℃台。臨床検査実施：異常なし 2006/2/9 正常退熱より、再び発熱し、38.4℃まで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄再発し、退院。第Ⅴ因子の減少回復。 トロンビン、ヘパリンともども回復していることより、一過性の減少と考えられる。 2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃。頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。 (10:30)タミフル(40.5mg)服用し鼻血で安静臥床させた後母親が買い物に出た。(11:30) 患児が玄関から外出しているを発見し、自宅内に連れ戻したが室内を歩き回りながら グルグル回る。カラダをたたく(症状が10分間認められた。発熱、発汗も認められ た。またたきながら息を吐きかけた。症状が1〜2分間持続し、消失し、意識に落ちる。 (21:00)タミフル2回目服用(40.5mg)。22:00「うーん」と発熱し起き上がり「うーん」と した。5分間位で症状は消失。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。	78	
116	B05021189	9	年	女性	譫妄	2005/12/15 18:00	2005/12/15 20:30、23:00	○	Yes	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無 (20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時のこと は本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間:15〜30分母親が抱きかか えたと回復。(23:00)再び起き入り入るが、再度眠りのつかない言葉が発現し、再度母 親が抱きかかえたと回復。せん妄状態持続時間:15〜30分	79	
117	B05024835	9	年	男性	①譫妄 ②遊離チトロンビン 減少	2006/02/06 12:15	2006/02/06 14:15 2006/02/06 17:15 2006/02/06 21:51 2006/02/07 1:25 2006/02/07 1:33 2006/02/07 4:12 2006/02/07 6:00 2006/02/08 0:21	○ × ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	急性意識 2006/2/5 (夕方)発熱あり。 2006/2/8 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。急性意識障害の既往あり。本剤 を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg)1回を内服し、鼻閉で寝た。(14:15)突然起き上がり、 「おかし」「おかしい」「はすかしい」「はすかしい」と言いながら、着衣を脱ぎ「上げにのこい」 と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出すような動きがあり、大人4人で押さえた。 せん妄発現。10分位で落ち着いてきたが、その後再発。15:00再来時には意識清明 となったが、念のため入院とした。以降、せん妄発現まで観察せず。(17:15)話しかけて も会話が成立しない。せん妄発現。(21:15)寝る事を言う。視線が合わず会話不成立。 手足をばたばたさせる。尿失禁。せん妄発現。CT実施。異常なし。臨床検査(血清上、 フィブリノゲン265、FDP1.9、D-ダイマー-0.2、CRP4.8、BUN14.1μg/l)、血清高遊離チ トロンビン(49%)、第Ⅴ因子49%、第Ⅷ因子9%の減少を認めた。時刻は不明であるが、 状態。 2006/2/7 (12:25)急に産物になる。口をくちやくちやくと「うーん、うーん」と言い、目 は開けているが視線を合わせない。立ったが足元からふらつき、ポータブルトイレで用 をたし。「こわい、こわい」「はすかしい」「はすかしい」と言う。せん妄発現。(13:30)窓の口 角をつまみ上げ開閉して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。(14:30)急に起き上がりて目 しかけてもまぶたを閉じる。尿失禁。せん妄発現。6000ccに水を上げて、言葉が通じな い。ポータブルトイレにて嘔吐する。せん妄発現。(正午)体温37.0℃台となる。本剤 中止。シスゲン250mg×3回/日、ヒベンズ酸チベジン20mg×3回/日へ変更し投 与開始(〜2/13)。MRG実施：異常なし。時刻は不明であるが、状態。 2006/2/8 (0:21)排尿する時に2分くらい「ぼー」としていた。計7回せん妄発現した が、いずれも自然軽快した。 1日当たりの持続時間:2〜10分間。体温38.0℃台。臨床検査実施：異常なし 2006/2/9 正常退熱より、再び発熱し、38.4℃まで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄再発し、退院。第Ⅴ因子の減少回復。 トロンビン、ヘパリンともども回復していることより、一過性の減少と考えられる。 2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃。頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。 (10:30)タミフル(40.5mg)服用し鼻血で安静臥床させた後母親が買い物に出た。(11:30) 患児が玄関から外出しているを発見し、自宅内に連れ戻したが室内を歩き回りながら グルグル回る。カラダをたたく(症状が10分間認められた。発熱、発汗も認められ た。またたきながら息を吐きかけた。症状が1〜2分間持続し、消失し、意識に落ちる。 (21:00)タミフル2回目服用(40.5mg)。22:00「うーん」と発熱し起き上がり「うーん」と した。5分間位で症状は消失。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。	80
118	B05024837	9	年	男性	幻覚	①10:30 ②21:00	2006/2/4 ①11:30 ②22:00	-	-	-	5-6分	Yes	発熱持続	○	No	No	No	Yes	無 2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃。頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。 (10:30)タミフル(40.5mg)服用し鼻血で安静臥床させた後母親が買い物に出た。(11:30) 患児が玄関から外出しているを発見し、自宅内に連れ戻したが室内を歩き回りながら グルグル回る。カラダをたたく(症状が10分間認められた。発熱、発汗も認められ た。またたきながら息を吐きかけた。症状が1〜2分間持続し、消失し、意識に落ちる。 (21:00)タミフル2回目服用(40.5mg)。22:00「うーん」と発熱し起き上がり「うーん」と した。5分間位で症状は消失。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。	81
819	B05025584	9	年	女性	異常行動	2006/1/26 昼前	2006/1/26 4時間後	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	No	No	無 2006/1/26 発熱、頭痛を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフル(40.5mg) 7.5mg×1回/日処方。翌日、本剤内服。(15:00)体温38.0℃。(約4時間後)部屋の中 を急にウロウロ歩き回るという異常行動発現。その後、安静にて落ち着き就寝できた。 同日再診し、溶連菌を確定。本剤投与中止。水分補給、安静を指示した。 2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。	82
120	B06025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2 夜	2007/2/2 夜中	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無 2007/2/2 当院来院。38℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(1)のみ、タミ フル50mg×1回投与。(深夜)入院中の異常行動(異常行動)発現。起き上がりたり、意 識不明な状態を繰り返す。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院(救急外 科)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)	83

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 年齢 範囲	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時 刻	就寝中か否 か(就寝中○、 就寝中じゃない×)	異常な 行動に 関連 する 状況	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	起床までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚覚悟等 の投与	継続服用 後等の 経過	先に 服用 した 薬剤	他剤による 「異常な 行動」の 副作用	異常な行動 に関する 理由	異常な行動の具体的な 詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと云っているのか？)	旧資料No	
121	B07000097	9	年 男性	幻覚	2007/3/25 8:00 17:00	2007/3/25 24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/25 (5:00)発熱38.8°Cあり、咳あり、(7:00)キットにてインフルエンザAと診断、タミフル1/2cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーをムコゴザインと混合し1/2量内服した(1回分)、(17:00)タミフル1/2cap(37.5mg)時服、38.7°C、(21:00)服薬、(23:00)突然起き上がり臭いものが降ってくるから逃げると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚出現。 2007/3/26 (5:00)水分摂取できず着かせるが、1時間の間に数回起き上がり逃げようとする。37.9°C、(1:00)再度起き上がり大丈夫だと獲得するも、黒い大きなものが屋根に落ちてくる。寝てくるから外に出ないといけぬ、逃げないといけぬと再度外へ飛び出そうとするところを制止し寝かせた。その後数回、合計数十回同様の行動があった。(7:00)服薬消失、就寝した。(10:00)起床し、夢であったと自覚。異常行動について、(10:00)発熱38.8°C、(11:00)解熱し落ち着いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ回復・回復。	84	
122	B07000198	9	年 男性	譫妄	2007/3/11 20:30	2007/3/11 21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/11 (18:30)38.8°C、(20:30)タミフル60mg内服直後、(21:00)視その後、突然驚くし手に感電がある」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時「行かなきゃ」と言って玄関に向かっていた。 2007/3/12 (8:00)救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ意識にもどっていた。37.3°C、(9:25)自家用車にて来院。来院時意識清明。	85	
123	B07000262	9	年 女性	異常行動	2007/3/30 12:30	2007/3/30 13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	3月30日 12:30近頃でインフルエンザBと診断、自宅でタミフルを内服。その後入眠。13:00「ワッ」という声に気づき、ベランダの方へ走るのが見えた。方角で止めようとするが、「行く」と叫びながらベランダを目指すが、何とかトイレに連れ込まれ「出て行け」と叫びながらトイレペーパーを投げつけた。その間、目がさわつたような状態していた。5分くらいで意識を取り戻したように、普通の会話が出るようになった。近所で受診後、搬送された。16:00 搬送時、意識は清明。	80	
124	B07012129	9	年 男性	異常行動 幻覚	2007/4/19 2007/4/19	朝 夕 ①2007/4/20 ②2007/4/20	①7:00 ②11:00	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	①発熱持続 ②解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/2/19 インフルエンザA型と診断。 2007/4/20 (7:00)突然7歳と異声しながら部屋の扉を開き、包を持った男の人が泣いて出てくるという幻覚。意識清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)祖母が異い物から来ると、度々罵詈雑言を吐き、上記と同様の幻覚で悩まされていたとのこと。(13:00)地所に異音入眠(本剤内服を中止)。その後、幻覚、異常行動はなし。 2007/4/23 インフルエンザ回復。	87
125	B07013252	9	年 男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12	2007/3/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/9 本剤投与開始。異常行動が発現。服用約3時間後に、意を削げ飛び出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本剤投与継続(→3月12日)。この間、異常行動は認められなかった。	88	
126	B07013257	9	年 女性	異常行動	2007/3/30	夕	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/30 インフルエンザに対して、本剤40.25mg内服。異常行動発現(非重篤)。寝ていたが半分ほど起きて走り出し「飛び出そうとした。一旦落ち着いたら、再びビジャマをどりどりに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後、すぐに他の病院に搬送された(経緯は不明)。体力を消耗した様子ではあったが、その後回復。	89	
127	B07013259	9	年 女性	譫妄	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	2007/2/27	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/27 インフルエンザA型の診断で、薬に本剤服用。夕方、19時に本剤2回服用。このときの体温39.5°C。横になってテレビを見ていて服用から時間が経ったところ、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑え込めることができた。3分で落ち着いたら、その後本剤服用を継続(→3月2日)するも問題なし。 2007/3/2 異常行動は回復。	90	
128	B07013313	9	年 男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18	2007/3/17	20:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	無	2007/3/17 (10:00)発熱38.8°Cにて来院。インフルエンザA型と診断、本剤75mgの投与を開始(なお、ワクチン接種後を忘れていたために処方)。(18:00)コップで飲んでいた。(20:00)突然に暑い寒いと窓を開けて音の降る外に飛び出した。母親が帰るよう言っても、なかなか帰って来ず「ばー」と言っていた。母親はふざけていると思い叱った。「寒いから窓を開けるよ」と言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして就寝した。 2007/3/18 翌朝に前後のことを覚えていなかった。 2007/3/19 (8:00)本剤75mg服用。 2007/3/20 (10:00)体温37.1°C	91	
129	B07013329	9	年 女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27	23:30	○	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	無	2007/2/27 キットを実施したが陽性。臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し本剤処方。(朝)本剤投与開始。(45mg × 2日)、(23:30)夕食後、本剤45mg2回目を服用。就寝後、23時30分頃、急に目を開いて立ち上がる。母親は横で寝ていた。そして「力かここにはいられない、外に行かなきゃ」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。異常行動(非重篤)発現。(1→2時間後)また起き上がり「学校に行かなきゃ」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえて止め、そして寝た。(更に1時間後)再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。熱は38.9°C。母親はニュースを見て、本剤の副作用を知っていたので次の日は服用させなかった。 2007/2/28 (9:00)異常行動回復。 2007/3/1 インフルエンザ回復・回復。	92	
130	B07013330	9	年 男性	異常行動	2007/3/12	夕	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/3/12 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(30mg/日) 2007/3/13 (20:30)突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の欄を乗り越えて外に走り出した。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。本人は全く覚えていない。	93	



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試薬中か否 か (試薬中○、 試薬中じゃない×)	覚醒直 後に発現	試薬中の場 合、発現時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬等 等の服用	睡眠薬用 途外の家 具等	光に対する 反応	性別による 「異常な行 動」の動作 用途	異常な行動 の動作用途	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたと言っているのか？)	記載No	
131	807013375	9	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/27 発熱38℃で嘔吐、鼻水、食欲減少。 2007/3/28 (午前中)本院来院。インフルエンザ簡易キットにてインフルエンザA型診断。 (夕方)1回目の本剤75mg服用。服用後数時間後、自宅庭を徘徊しているのを妻が 見付けた。記憶障害(非重篤)発現。(後)叫声を発する。異常行動、音声(非重篤)発 現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動について記憶がなかった とコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。	94	
132	807013396	9	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/5	14:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg×2/日投与開始。発 症時自覚所見：発熱38℃(07/2/4)、咳、消化器症状嘔吐、下痢。(14:00)本剤初 服用後、2時間くらいして、目つきが変わって、しきりに外に出ようとして、何か訳 のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (〜2/9)強りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	95	
133	807015225	9	年	男性	睡眠時覚醒	2007/2/28 2007/2/28	発現日前日の 夕方他に1 回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	No	2007/02/28 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(75mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上 り、悪夢に怯えるような状態で30分〜1時間持続。夜間(睡眠時覚醒)発現。回復。こ の時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)を伴っていた。この時の事を本人は記憶してお らず。救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (18:00)夕方から眠っていたところ、衝動的に父親、またまらぬ言葉あり 小児科受診。夜間(睡眠時覚醒)発現(非重篤)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父 に抱かれ分まで寝る。寝る。 2007/03/05 同上のエピソードが短時間あり。(1:30)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴 え、「悪夢を見た」と自覚。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間あり。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜間(睡眠時覚醒)悪夢は見られなくなった。健 快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、健快。 2007/05/25 上記各所見、診察時には健快している事を確認した。
134	807023327	9	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/16 2007/10/16 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	○	-	-	Yes	不詳	No	No	No	No	-	-	2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザAと判定。本剤90mg×2/日処方。(午 前)38.5℃。帰宅後本剤服用。2階にて就寝(居寝)していたが、母が気がついたと きには1階をうろついていた(急に2階から1階に降りた)。母がどうしてうろついてい るか子供に尋ねるとそれに返ったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点で 本剤服用中止せず。寝ているときも床音が多く天井に向かい両手を壁に動かしてい た。異常行動(非重篤)発現。 2008/01/16 試薬中検査や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見ら れなかった。 2008/01/18 (午前)38.8℃。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ健快。 2008/01/19 本剤投与終了。	
135	807023858	9	年	女性	異常行動	2008/1/28 2008/1/28 2008/1/27 2008/1/27 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:00 21:00 8:00 19:00	2008/1/28 2008/1/27	20:50 15:00	-	-	-	5分 35分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	睡眠時覚醒	2008/01/28 (17:00)インフルエンザ治療のため、本剤(80mg×2/日)服用開始。(20: 50)寝ていると寝床は思っていたが試薬中急に起き上がり、部屋の扉をぐるぐる回っ たり、意味不明なことをぶつぶつ言っていた。異常行動(非重篤)発現。発熱38℃。 2008/01/27 (19:00)再度発熱、一人言などあり。異常行動(非重篤)発現。発熱38℃。 (19:00)症状回復。前日と同様であったが、神経が短かった。 2008/01/29 (9:00)突然発熱より電話にて報告あり。その後はおかしい行動は見ら れないとの事。発熱38℃。 2008/01/30 本剤投与終了。	
136	807026154	9	年	男性	異常行動	2008/2/3	19:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	-	-	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)発熱。 (22:30)突然異常な目つきで階段を駆け上がった。(23:00)顔が振り回されて振りにつ いた。その後 異常行動回復。	
137	808001747	9	年	男性	異常行動	2008/1/24 2008/1/25	1日2回	2008/1/25	22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/24 インフルエンザA型およびB型同時感染のため、本剤服用開始(51mg×2回/日)(〜 1/25) (18:45)体温:38.0℃。 (22:30)本剤、他併用薬内服。 2008/01/25 (22:30)患者本人が母親の寝床の枕のところで泣きながらあやまっているのを見て、弟 が階下にいる母親に知らせに行った。本人も一緒に階下に戻り、おびえて母親に抱 きつき、あたりを見まわしたり、「(怖いよ、ごめんない、死にたい)」と不穏であっ た。一旦横になっていた。異常行動発現。 2008/01/26 (0:30)起き上がり「トイレに行きたい」と言ったが、トイレに行かないでテレビの前で座 って「うらぎられた、うらぎられた」とおびえて震えていた。死にたい、こわい等を言う。これ 等不穏状態を繰り返し、1時間くらい経って寝た。この間目つきが異常で力が強い。 以後本剤中止。異常行動回復。	





異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 ●：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	調査番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服以上 完全回復	体温	悪夢の記憶	聴覚覚醒症 等の既往	聴覚覚醒症 等の家族 歴	発熱に対する 反応	他剤による 異常な行 動(副作用 あり)	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたと答えているのか?)	旧資料No
157	B06024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/19 20:30	2007/2/20 8:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	-	No	Yes	No	No	Yes	2007/2/19 前夜、目がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフルエンザだろうと思い昼に処方されたタミフル72mg×1日を飲ませた。(2:00)夜、発熱40℃の発熱が起った。 2007/2/20 (8:30)服用後約10時間経過した朝、就寝中突然起き上がり排泄を止められた。朝のわからない事を言ひ及び泣いた上で、母親が制止しようとしたが、おさえきれず父親を呼び人がかりでおさえ込んだ。(8:35)正気を取り戻した。(10:00)当院受診、インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療の為、本剤72mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの転帰:回復	111
158	B06025190	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/2/18 2007/2/19	2007/2/19 ①午後 ②午後	①○ ②×	①Yes ②-	-	①10分 ②-	Yes	-	Yes	No	No	-	No	①ヤクザみたいな人が入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの扉より飛び出し自宅のまわりを雑足で走り、川の中まで入った。田んぼを徘徊、その後しばらく樹林に隠れていた。 ③逃げろという声が聞こえた、と本人が訴えた。	112
159	B06026130	11	年	男性	①遊戯 ②異常行動	2007/02/10	2007/02/11 0:20	-	No	-	8時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	ウロウロ家の中を数回歩き回った。クーと天井に向かって両手を突き上げ、手を振り回した。 その時「うらっ」と叫んで、「ガラスを割ってしまった。定足まで切って、外科で縫合し	113
160	B06026540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6	2007/2/7 2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/05 インフルエンザB型と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(18:00)タミフル75mg服用(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を言って起き上がり、トイレに行った後、「プツツツ」と言いながらベランダや玄関の敷き物のドアを開け、外へ出ようとした。母親が必死に止めろが気づくまで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその度全力で止めた。 (4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(8:00)起床。熱が下がりはじめたように回復。目が覚めたが、異常行動については、全く覚えていなかった。異常行動回復	114
161	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24	2007/2/24 19:00	×	No	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	2007/2/21 ポラリミン2mg×2回/日の投与開始(〜3/24)。(タミフルインフルエンザ治療の為、タミフル75mg×1/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝。 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおこったため朝の分)。(18:30)発熱から外に出ようとしているのに父が気付かず、もう寝ようので外出するのはやめなさいと責めたところ玄関に閉じこもった。特に異常な反応は感じなかったが、後から考えるとおかしな行動だった。(19:00)異常行動による転倒(非常に重傷)。居間で火とTVをみまわしていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐにドンッと言ったので見るとベランダの下の土の上で、ボーッとしていた。家に戻るようながして一階に入り、30分後にはもうボーッとした感じではなくなった。意識ははっきりしていた。どうして落ちたのか聞いてもわからないと答えていた。外傷はごく軽い打ちみのみなので特に手当てはなかった。	115
162	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	2005/2/18 2007/2/22 1:00	-	Yes ねぼけ	-	15分	Yes	解熱過程	Yes	Yes ねつとのとき に症状+	Yes 母の父、母	-	無	2005/2/17 (タミフルインフルエンザ治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温:38.8℃(午前)タミフル投与量不明(内服。タミフル投与(不明×2/日~07/2/21) (15:00)異常行動あり。10分位。布団に落ちて「キャッシュが卒業した」と言いながら泣いている。(重篤度不明) 就寝。異常行動あり。 2005/2/19 インフルエンザの転帰:健快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38.8℃の発熱。(夕)39℃。発熱時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくもついていた。父親が引きずり出した。その後階段を降りたり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かされたところ、布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位寝た。母親に「第一子は母の手で」「お母さんはマリア・アントワネット」と言う。少し斜視後だが、いつもよりひどくなっていた。この時典型的な37.0℃を合点したことを確認している。夕方より(受診時)から熱はなかったとのこと。異常行動発現。インフルエンザの転帰:健快。 2007/2/23 翌日、わざわざからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/26 本剤の服用終了。	116
163	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27 23:00	-	-	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	No	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中受診。インフルエンザA型と診断。本剤20mg/2分、ポラリミン0.03錠、ムコダイン0.250錠、アトロプリン錠、シロキール(2001)錠を処方。(18:00)38.7℃あり。上記薬剤を服用。7:00(上記薬剤を服用。(21:30)起床。(23:00頃)1階にいた家族の知らぬうちに、2階より寝巻を着たまま家を出て、近くの家で保護されていた。その後運ばれてきた。すぐ寝かせ、翌日まで臥床。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の体温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり。発熱、発熱時は元気があり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭痛は軽微。A香港型(A/H3)を分離している。 2006/3/1 (8:00)38.9℃ (17:00)36.8℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	117

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例  
 ◎：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名	タミフル 服用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 直後に発現	就寝中の 場合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	経過	患者の記憶	観察者 等の反応	継続投与 後の家族 等との 反応	他剤による 「異常な 行動」の 副作用	異常な行動 に関する 留意点	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどと書いているのか?)	旧資料No
184	B07000131	11	年	女性	①遊戯 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	2007/3/5 19:00	×	No	-	3日間	No	解熱過程	Yes	No	-	No	遊戯	2007/3/1 かぜ症状あり、日中近所散歩、ウチリス、アスベリン、プルスマリン、ボルボ ノールDS、乳腫カシム、ラクビーを処方された。(夜頭痛あり) 2007/3/2 (朝)咳にて、(日中)38℃台となる。発熱。 2007/3/3 (夜)38.0度頭痛発症。咽頭痛あり。インフルエンザ迅速でB陽性。本剤。 ムコダイン、ダジコン錠、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(〜3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり。興奮状態で家人が常にかみている。異常興奮(許重量)発現 (発現時間不明)。インフルエンザ陰性。 2007/3/5 (15:00〜16:00)昼寝。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに横たわり、更 に立ち上がりそこから床に転倒したが、顔を打ったため口唇内傷を伴って出血。近所 散歩、洗濯して帰った。その後自宅に居る。ガートロールを塗り替えてきて来る車に 飛び込みしたため、指輪がガードレール越しに落ちた。本人が制止を振り切ろう とするが、力が強かったために指輪は転倒し、顔面に擦過傷を負った。異常行動発 現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間で回復) 2007/3/7 以上の経過を聞いた。発熱直後は家人も感れており、自宅安静にしてみ	118
185	B07000183	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/9 2007/3/10	2007/3/9 14:00	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	-	No	不明	2007/3/9 (1:00)本剤50mg×2回/日投与開始(〜3/11)。(14:00)本剤服用3時間前 で嘔吐を繰り返した。異常な大きな声に聞こえられた。体を十分に冷やれず、 熱い顔と叫ぶ。本人は目を閉じている。せん妄発現。ほとんど寝さず。解熱剤 (坐剤)を入れ、10分後に解熱。その後そのような発作はない。せん妄回復。(20:00)タミ フル内服。 2007/3/10 (8:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ陰性・回復。	119
186	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重量度不明、過去には、夜 に一人で外をふらつき)がみられた。 2007 インフルエンザ陰性 2007/3/3 始動してタミフル投与開始(75mg×2回/日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり顔に擦傷を負い当院整形外科を受診。 2007/3/10 回復。	120
187	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19	①14:50〜 15:00 ②23:00〜 23:05	2007/3/19 2007/3/19	○	Yes	-	5〜10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	①階段を平足で上がり、母がかげつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を閉じ「う んこ!」と吐き。 ②階段のホースを外し、先端(T字型)部分に足を入れようとする。「入らないよ」と声 をかけるのと泣く。本体の穴にも足を入れようとする。紐が笑うと怒った様子。 本人の口:夢でマンションから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、退室に思 える。自分の足を階段本体に入れようとしたが自分の体を止められず。その後記憶が 無くなった。 14:00にタミフル服用し、14:10〜取産。14:50覚醒し、異常行動発現(12/3 分間)。15:05〜20:30再び就寝し、21:50に夕食をとる。22:00タミフル68mgを服用し(2/3 吐き、1/3飲む)。22:15〜再び就寝したが、23:00に目を覚まし異常行動を再開(5分 間)。23:10再び就寝し、その後タミフルは服用なく異常行動もなし。	121
188	B07000318	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	-	No	2007/03/19夕方本剤52.5mg/回内服。(1時間後)突然嘔吐から覚醒し、立ち上がり「キ スト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。(外に出ようとした。「早く」と本人 はつぶやいていた)。制止して様子を見ると、突如動機(音程あり)笑わなげに「ヤ 」と笑っていたのが不安味だったとの母親談)。発見直後の状態が約5分程度続き、そ の後も家中をふらふらとどこに向かうというわけではなしていたそう。服用は1回で 中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせつけた)。 2007/03/20異常行動回復。 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	122
189	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	14:00-15:00	○	No	1-2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	-	-	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに対して、本剤83.9mg/日内服。 その後寝かせたが、1〜2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家に行 くと言出し、簡単に外出しようとした。母親がつかいと叫び返して寝かせた。そ の後にはニコニコと笑っていて手足がどろどろ動いていた。しばらくすると捨まりその後 服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	123
170	B07003788	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25 2007/1/26 2007/1/26	2005/2/25 午前中	-	No	-	10分	-	発熱持続	Yes	No	No	No	No	2007/02/24インフルエンザと診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(許重量)。2階で一人で臥床していた。その時はまだ 解熱していなかった。1階にいた母親が突然のもの音がしたとほろほろと大 声を出し、大変な勢いで階段を下りてきた。母親が抱きとめたが、約1分ほど興奮が つづき、脅えていた。その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26その後も服用を続けたが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄関(本人からは見えない)の外に犬の尿がいて、がやが としゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そのような事 実はなかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。	124

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服以上 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 状の既往	睡眠覚醒 障害の家族 歴	発熱に 対する 反応	地帯による 「異常な行 動」の新作 用歴	異常な行動 に起因する 要因	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとど言っているのか?)	田資料No
171	B07007902	11	年	女性	①異常行動 ②虚驚発作	2007/2/19 11:00	2007/2/19 14:00	×	No	-	-	-	発熱持続	No	No	No	No	-	-	2007/02/19 (午前)近頃受診。インフルエンザ迅速検査:陰性であったが、インフルエンザ疑いで本剤処方。 (11:00頃)本剤72mg×1/日投与開始。 (14:00頃)興奮状態となり、職室内方持って突然ベランダに飛び出さうとした異常行動発現。 (15:00)虚驚発作発現、誰が母に連絡。 (16:15)母が救急搬送依頼し、当科外来受診。 来病時は意識清明。ダイアブプ坐薬10mg挿入。 インフルエンザ迅速検査にてB型陽性。 頭部CTは異常なく、脳波検査など施行後、ソリタ3持続。点滴にて経過観察とした。 2007/02/20 (午前)夜間、RT:40℃まで上昇あり、異常行動出現。 (夜00)薬量レベル調整。 頭部MRI施行し、拡散強調画像で、脳梁線大部に高信号域を認めた。 MRI所見は可逆性(一過性)の病変であった。 2007/02/21 (午前)解熱傾向あり。 2007/02/25 完全に発熱し、全身状態良好。 2007/02/26 異常行動、虚驚発作回復。	
172	B07011102	11	年	男性	異常行動	2006/1/16 (夕) 2006/1/17 (朝)	2006/1/17 午前	×	No	-	-	-	発熱持続	No	No	No	No	No	No	2006/1/16 39℃の熱が続いていた。キッドでは陽性。総合的にインフルエンザと診断しタミフル処方。(夕)タミフル投与。 2007/1/17 (朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを母に止められた。その時熱は赤らんでいて、何も覚えていない。精神神経系の副作用(異常行動)(非重篤)発現。	125
173	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	2007/2/7 23:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	2007/2/7 (16:00)体温:37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内服。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.8℃(07/2/7、16:00)、頭痛、嘔、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、関節痛、倦怠感。(22:00)就寝。(23:00)せん妄発現(非重篤)。2階にて就寝中、突然起き階段を「怖い」と言いながら走って降りてきた。15分～20分横たっていた。 2007/2/8 (7:00)せん妄発現。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。	126
174	B07013227	11	年	男性	躁越 浮動性めまい	2006/1/11 2006/1/11	2006/1/11 -	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	No	2006/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤75mg×5回/日処方。1回目内服後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約8時間後に2回目内服。その後就寝。興奮、ふらつき発現(非重篤)。突然起き出し外へ飛び出したところを家人におさえられる。家人より目録がおかしかったとのこと。2-3分にて本人が気が付き状況認識すると、とても悪い夢を見たとのことだった。 2006/1/12 興奮、ふらつき回復。(8:00)家人より電話あり。症状は落ち着いており、特にかかりたいとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2006/1/13 発熱持続に変わったことなし。	127
175	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	2007/2/24	×	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始(40mg×2/日)。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/2/24)、嘔、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、消化器症状(嘔吐、下痢)、本剤服用後、1時間後位して急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。	128	
176	B07013318	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	2007/3/18 15:30	○	-	0.5時間	Yes	解熱過速	No	-	-	No	No	No	No	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤67.5mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/3/18 16:40)、倦怠感、嘔吐感。 2007/3/19 (朝)本剤67.5mg内服。(15:30)異常行動発現(非重篤)。部屋の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意識不明な発熱もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、壁に走り壁面に当たるが、行動、音動については記憶がない。(16:00)異常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。	129
177	B07013379	11	年	男性	異常行動	2007/3/12 15:00	2007/3/12 17:00	○	-	20分	No	発熱持続	-	No	No	No	No	No	No	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤67.5mg×1/日投与開始。 体温:38.5℃。(15:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚愕)、躁越(強いうつ?)、興奮状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、驚愕のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。約20分持続。(17:50)就寝。(20:30-20:35)再び就寝中に数分～5分、数分の恐怖の発現がある。 (21:30)就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。 2007/03/13 一過性の怖れ(驚愕)、躁越(強いうつ?)、興奮状態発現後、何事もなくめどめする。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは覚えていない。インフルエンザの軽快・回復。	130
178	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20 夕	2007/3/20 服用から1時間後	×	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	-	-	No	No	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に帰ってすぐ本剤75mg内服。発症時自他覚所見:発熱(39.4℃)、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を飛び出した。家の周りを周回し、帰って来て寝ていた。おそらく、この時、高熱と全身痛があったので、この行動は不可避である。 その後、異常行動は止み、薬を中止するよう指示して再発なし。	131

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：総観後後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例  
 \*：総観後後に異常な行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じやな い：×)	異常な 行動に 関する 記述	就寝中の 場合、就寝時 刻から発症 までの時間	起立までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	観察者等自 身の目撃	観察者等 他者の家 族等	本人に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用	異常な行動 に関する 既往	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどきっているのか？)	旧資料No
						2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/3	2007/03/08 12:00	2007/03/08 12:10														
179	B07013387	11	年	女性	異常行動	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/3	-	×	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	無	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自覚 所見：発熱39.1℃(07/03/02)、頭痛、嘔、鼻出血(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたた め、大事には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動継続。インフルエンザ陽性。	132
180	B07018037	11	年	男性	異常行動	2007/3/8	12:00	2007/03/08	12:10	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/03/08 38.7℃ (12:00)タミフル1カプセル服用。(12:10)突然飛び起き、目を見開 いて走り出す。(12:40)上記の症状はおさまる。異常行動を覚えていない。	
181	B07018716	11	年	男性	異常行動	2007/11/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/11/20 本剤服用後2時間ほどで発熱を呈し、3階から飛び降りようとしたとこの ことで、家族が当該を要請し、入院経過観察することとなった。 2007/11/21 異常行動は回復。	
182	B08001550	11	年	男性	異常行動	2008/3/11	PM	2008/3/11	21:00	×	No	入眠過程	-	No	発熱持続	Yes	No	No	Yes	-	-	2008/03/11 IPM本剤服用120mg (21:00)トイレに入り、その後電気まぶしがかり、扉の閉鎖を繰り返す。足元から何か 落ちてくるものを感じた後、リビングの方へ歩いて行き、何かに当たっている 様に感じながら逃げ回っていた。 その後、3-4時間おきに同様な行動をとった。 「外に行く！」と言っていたので、制止した。 異常行動(非重篤)発現。その後、本剤服用中止。 不明 異常行動回復。	
183	B08009394	11	年	男性	異常行動	2007/2/13 2007/2/14	1日2回	2007/2/14	1:00	○	No	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	-	-	2007/02/14 (1:00)トイレに立て続けに(15分間)行く。無意味な動き(非重篤)発現。 (1)動機不明な動き。 (2)無意味な動きの記憶なし。	
184	B02-12377	12	年	男性	①幻視 ②低体温	2002/1/3	①朝 ②夕	-	服用後 服用後	×	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	-	①(家族からの情報)本剤服用後、幻視、低体温、鼻れたあ、両親が押さえた。 再度出現したところ、再度幻視出現し、低体温、鼻れたあなどの症状が出現し、再び両 親に押さえられて治まった。 ②未記載	133
185	B03011945	12	年	男性	異常行動	2004/2/4 2004/2/5	夕 朝	2004/2/5	3:30	○	Yes	8.5	数十分~1 時間	Yes	持続中、解 熱過程	-	-	-	-	-	-	2004/2/4 発熱あり(38~39℃)。(16:00)予て学校卒業。近距離受診。インフルエンザ迅 速検査陰性だがインフルエンザが疑われたため、タミフル、ヘパチン酸処方(1日分 75mg)内服する。(18:00)その後すぐ就寝。 2004/2/5 (3:30)突然、母の体の上に乗り「宇宙が～」と意味不明のことを言う。 異常行動(軽微)発現。その後、尿失禁、シャワーをあげると元にもどる。朝、本剤75mg 内服する。午後より発熱。この間、寝たり起きたりの生活。(17:00)急に「みんなはこうす る」と言ったり、「(母の言葉へ)行く」と言い、玄関とは全く違う方向へ歩いて行くこと する。家人の呼びかけに対し、元にもどる。(18:00)当該初診される。当該初診時は意識 清明であり、特に変わった様子なし。当該承認以降は発熱認めず。念のため入院し、 入院退院すべて中止して様子みた。入院後、発熱、意味不明行動等、全くなくなり、ふつ うにすごす。入院中の頭部CT、脳波も正常。 2004/2/6 異常行動回復。 2004/2/7 退院される。	134
186	B04009035	12	年	男性	異常行動	2002/2/25~ 3/2	朝・夕	2002/2/25	21:00	-	-	-	3時間	-	発熱持続	No	No	No	No	No	2002/02/25 朝、KT:38~39℃認め、近衛でインフルエンザB(+) (150mg/日)、メロキサム酸処方された。自宅より入院した。(21:00)突然「面白い」と 言つきが異常(いつもとちがう)になり、自宅2階の廊から飛びおりた。(24:00)救急 車で来院し、意識は清醒であった。	135	
187	B05023672	12	年	男性	異常行動	2008/1/19	20:00	2008/1/19	22:00	○	Yes	1	15分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	トイレへ行こうとするが嫌子がおかしく、その後突然外出し団地4Fより階段を降りて下 にある自転車まで走り出す。発熱を上げていた。異常行動発現。15分後、帰ってきた が意識が一瞬としており発熱もはつきりせず、朝家で経過。その間の記憶が無い。	136
188	B05023790	12	年	男性	①異常行動 ②意識障害状態 ③横着音折 ④下腿骨折	2006/2/4	昼	2006/2/4	15:30	-	-	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	-	2006/2/4 (12:00)A院にてインフルエンザA型と診断し、タミフル処方。帰宅後服用(1日 分のみ)。(15:30)自宅マンションの2階より転落。意識障害。異常行動発現。発見され、 救急車でC院へ搬送。右腕、右下腿骨折。意識が回復して手術。同時に小児科にて 診断。入院。意識が回復し、インフルエンザA型と診断。 4-5日 発熱、嘔が続き、また夜間うろたわることがあった。 6日目 リハビリ開始。意識は継続しているが全身に段々傾向、経過観察にて症状消 失。 2006/02/10 インフルエンザ軽快。 2006/02/16 意識障害。異常行動回復。	137
189	B06024838	12	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/1 2/2~2/3	19:00 22:00 朝・夕	2006/2/1	22:30	○	Yes	0.5時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	-	2006/2/1 (12:00)38.5℃の発熱、頭痛あり発現。母親が同様の症状であるが、母の 鼻汁よりインフルエンザが証明されたため検査は実行せず。タミフル75mg 2錠/日 ×3日処方。(13:00)タミフル内服。(13:00)タミフル内服。その際、38.3℃の発 熱あり。(13:30)内服30分後、就寝中より突然起きたし父親に抱きついて、母親に意味 不明な言葉を発する等の異常行動がみられた(動物を触る表情をしていたと母の 弁)。(24:00)再び入院した。異常行動は回復。(異常行動は約30分間持続) 2006/2/2 (朝)起床後は普段と変わらず。前日の記憶は無し。 2006/2/3 (8:00)38.4℃(12:00)38.4℃。本剤投与終了。	138

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	就寝中の場合、 起床時刻から発現 までの時間	一服以上 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与 後の責任	継続投与 後の責任	光に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用	異常な行動 に関する 検査	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと書いているのか?)	旧資料No
190	B05025582	12	年	男性	異常行動	2006/2/28 朝・夕	2006/2/28 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/28 (朝)夕方インフルエンザのため、タミフル(75mg)服用後、(20:00頃)突然部屋の中央でぐるぐるまわり始め、そのうちに2階の窓枠に足をかけ、飛び降りようとした。異常行動発現。父がすぐすり寄せ、部屋の中に入れて連れて来ていたが、約40分間父の腕の内側でわめいたり、暴れたりしていた。(21:00頃)そのうちに次第に落ち着いてきて寝た。異常行動経緯。熱は38°C以上あった。 2006/2/27 翌朝は解熱し音取と変わりなく、念のため病院に再受診した。本剤は2cap飲んだだけで中止した。外来受診時、意識ははっきりし病状に異常はなかった。体温:36.7°C。 2006/2/28 (第3病日)体温:37.5°C(以後平熱)。 2006/3/01 インフルエンザ経緯-回復。体温:36.7°C。 2006/3/3 再び発熱。母の話をと、本人も暴れたことは何となく覚えている様だと。由、1年くらい前にも発熱した時に、うなされたことがあったとの由。しかし今頃のようにひどくはなかった。	139
191	B06007798	12	年	男性	①死亡 ②換傷	2006/7/3 12:00	2006/7/3 17:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(17:50頃)自宅のある高層住宅の駐車場で高層に半足ボーンで、裸足で倒れていた。心肺停止の状態でも病状に陥没。前や脚など複数箇所骨折が見られた。(病院搬)心肺停止状態であり、1時間経過後行したが、全く反応なく死亡確認となる。転落によると思われる外傷があった。 (18:00)死亡確認。	140
192	B06012472	12	年	女性	意識レベルの低下	2006/7/28 9:30	2006/7/28 10:00 2006/7/27 1:45	○ ○	No	30分 - 5分 1時間35分	No	発熱持続	Yes	-	-	-	No	No	7/28 10:00頃とうとうし、急に起きる。顔に目がキラキラしており、一点を見つめるように、ぼつと目を見開いていた。のどが苦しくなり、意の方へ駆け出し、キーキー叫んでいた。5分程でおさまったが、一応救急車で運ばれ点滴を打って対応。「苦しくて、息をしても空気が入ってこなくてわかった」 入院。意識清明。受け答えもしっかりしていた。その時の様子を患者自身は覚えていないらしいが、ただ「手術に飛び出しそうになった」と話している。 (7/27午前)4:45頃に目を覚まして朝起きて、手が上へ動く、指もよこよこ振る。物が落ちて、午前7:00カロナール内服。(午後3:00)まだ怖い。どこかに行きそうなきがするとのこと。(午後3:30)落ち着く。	141
193	B06024212	12	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/10 昼	2007/2/10 20:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/2/10 インフルエンザA型と診断。(重)インフルエンザA型に対して、タミフル75mg内服。(20:00)意識障害発現(非重篤)。名前、自分の年が書えず、意識レベル3、入院し、点滴(ST3 300ml)にてfollow。 2007/2/11 (10:00)意識障害改善。意識清明、発熱(-)。 2007/2/12 (10:00)解熱。元気あり。退院。インフルエンザの経緯-発熱-回復 2007/2/14 (11:00)外来にて、かぜ症状のみ、神経学的に異常認めず。	142
194	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23 朝・夕 朝	2007/2/23 18:00	-	-	-	3時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/21 (夜)38.5°Cの発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A型にてタミフルなど処方。(朝)夕方タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然顔になりおどろいと書いてあるなどの行動あり。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(18:00)母親が目を見開いた間に、2Fベランダから飛び降り、裏庭から走り出る。当該へ入院。発熱不明、記憶減退。タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず。スチロイド/バルビタール投与。ICU入院。検査内容:ソル/ドローール1g/日(〜2/25)、マンニトール注20x250ml x3/日、ミラプリド注5万単位x3/日、ロゼタニド1g x2/日(〜2/20)、ワコビタール坐剤200mg/日、カロナール300mg/日(翌朝当院へ連絡があった。腹部MRI、CT、血液検査、胸肺・腹部・骨髄X線:異常なし)前頭部の3Hz wave with notchesが3~5秒持続するものが頻発。 2007/2/24 検査内容:フェニバル40mg x2/日(〜2/28)、その後異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかな後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。	143
195	B06024809	12	年	男性	異常行動	2007/2/7 12:30, 18:00	2007/2/8 2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)。(12:30)インフルエンザに対し本剤1カプセル服用。(18:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコスタマブ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て車で50m程先の駐車場に向って走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、逃げていくと窓を叩いて飛び降りていた。足に土の上に落ちており、応答ははっきりせず、寝たような様子だった。自家用車にて救急車外受診し、当院へ搬送依頼あり。(5:30)当院救急外来到着。意識レベルJCS-II、ICU入院。外傷は右膝蓋骨骨折のみで頭部内出血などはなし。検査検査:蛋白定量42mg/dL、糖定量86mg/dL、単糖球2/3mm <sup>3</sup> 、分葉球球0/3mm <sup>3</sup> 、(10:00)インフルエンザ抗体の可能性も考慮し、スチロイド/バルビタール投与(ソル/ドローール1000mg/日隔日(〜2/10)、(20:30)投与。突然笑い出す。泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS-II 2007/2/10 (9:30)意識清明と確認。 2007/2/11 インフルエンザ経緯。アスピリン20mg x3回/日(〜2/14)、ムコダイン500mg x3回/日(〜2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外まフォローとなる。 2007/3/8 異常行動回復。(15:20)顔のけがのため杖杖杖、行動、運動面で特に以前と変化なし。	144
196	B06025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8 12:00頃	2007/2/8 14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	No	-	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り「誰がこわれそう」落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話。最初は117番をかけてしまった。次に119番をかけて警察から連絡が来り救急車で病院に搬送。点検により落ち着いて帰宅。 ②夜になると怪えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き出して、顔に汗が出る。	145



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時時刻	試薬中か否か (試薬中○、 試薬中じゃない×)	発熱直 後に発現	試薬中の場 合、試薬時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	発熱の経過	発熱発症時 の状況	発熱発症 後の経過	発熱発症 後の経過	発熱発症 後の経過	発熱発症 後の経過	発熱発症 後の経過	異常な行動 の具体的な 内容	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたとどう言っているのか？)	留意事項
197	B06025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5~3/6	2007/3/4 22:00	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	No	No	2007/3/3 (17:05)38.3℃発熱あり、当院外来受診、翌日再診とした。カロナール200 21×服用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA&B-Nにてインフルエンザと 診断。本剤case 2×/31処方。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然起き始め、両足で 土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発症。 約10分程で落ちつき、両眼がおさまる。体温:37.8℃。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(〜3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (16:30)当院外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動回復。	146	
198	B06026630	12	年	男性	①狂躁 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	2007/3/20 0:30 21:40	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	-	発熱持続	No	Yes	-	No	No	No	急に起き上がり、部屋を歩き回った後、突然2階に駆け上がった。母が追いかけて押さ えて一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階に駆け上がり、ベランダへ出、飛び 降りた。家の中に連れ戻されたが、まだ興奮状態で居た。飛び降りたことは覚えて いない。翌日21:40、寝ていたところ、急に立ち上がり、「いかなあかん」とベッドから降 り、どこかへ行こうとした。看護士と母親で押さえ、医師到着時は本人落ち着いており、 これらは覚えていないと言った。	147		
199	B07001302	12	年	女性	①痙攣 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	22:30	-	-	-	約10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	No	2007/2/22 (夜)37.7℃発熱あり。 2007/2/23 (朝)38.7℃(発熱)37.7℃の熱あり。解熱剤(詳細不明)を内服したが、解熱せず 当院受診。発熱あり。インフルエンザA型と診断。(18:00)タミフル投与(75mg、3000錠) 試薬。(22:30)寝ていて急に起きたが、発熱が合わずウロウロして気が失い2階の 階段から転落。この時、全身硬直、痙攣する上肢にけいれん発作(非重篤)が認められ た。痙攣が10分ほど持続。10分後に他院受診。(23:00)30分後に来院回復し、顔面CT を行ったが、異常はみられず帰宅した。けいれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふ らつき。言動がおかしくなる症状は回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常であった。 以後は受診なし。	148		
200	B07001361	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	-	3分	-	-	-	-	-	-	-	-	服用2回目で突然立ち上がり、廊下へ飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる (約3分間)。家族が押さえつけて静止した。	149		
201	B07001523	12	年	男性	意識障害状態	2006/2/2	16:30	2007/2/2	17:30	-	17時間	No	発熱持続	No	No	-	-	-	No	2月2日(17:30)両手を挙上し、訳のわからない事を言いながら、こたつを10回ほど ど回った。その後、経製のふたを振り回っていた。このため救急車で来院。起りばく 荒々しい言動があった。	150		
202	B07002664	12	年	男性	①うつ病 ②躁狂状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	昼前 16:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	1時間	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間眠る。(19:00)起きたときに顔紅状態になり、母が押 ささつける。症状約30分続き回復。 2月21日(朝)37.7℃。起床後すぐに「手洗いを始める。その後もずっと手を洗い続け、1 日は30回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に40回以上「手洗い」。回りのものに触れようとするなくなる。 2月27日登校する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬メンタルクリニックにて洗浄強迫性障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅で見 守らなければならない状態となる。 4月18日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強直出現。	151	
203	B07011832	12	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	午前 午後 午後	2007/3/6	1:00~2:00	○	Yes	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤/バ ン200mg/日と下痢薬を処方。 2007/3/5 (AM9~10時)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終 了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断。タミフル75mg×2回/日(5日 分)。カロナール200mg2回分処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。床 足で飛びようとした。手の中までの副作用の薬を1〜2錠に投与は過剰し、目を 閉めないように母親に指示していたため、大事には至らなかった。マンションの9階で互 助の外に出なくて幸いであった。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く覚えていなかった。インフルエンザ疑性。本剤の内服中 止。	152	
204	B07013228	12	年	男性	異常行動	2006/2/17 2006/2/18	2006/2/17	-	×	Yes	-	Yes	-	-	-	-	-	-	No	2006/2/17 (夕)前日より発熱(38.1℃)でインフルエンザA+との診断受け。本剤 (75)2g×3日分。麻黄湯75g×3日分の処方される。帰宅後、本剤を服用し、試薬。 (22:30)両手が握りこぶしを握り、トイレットから出てきて「わあ、わあ、わあ、 わあ」と言って玄関から出ようとしていた。母親2人がかりでおさえつけた。 2006/02/18 (8:50)患者より処方薬に連絡。上記の件を伝え、本剤中止との指示 が出た。体温は37.2℃。(8:00)患者より薬局にもあり、経過の情報を受けた。念 のため、本日は患者を見守るよう指導。	153		
205	B07013229	12	年	男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	10:00 20:45	2007/2/2	2:30	○	-	40分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	2007/2/1 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg内服。 発熱状態のため、タミフル1mg×2回/日投与開始(〜2/4)。 2007/2/2 (夜)3:00異常行動発症(非重篤)。急に起き上がり寝を起き、部屋の中心を歩 き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母の話を理解していない様子だが、祖母とは会話 できた。ベランダに出て走り回ろうとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。 体温:37.9℃。G:1040分くらいで再び起りつづいた。(9:00)異常行動発症(非重篤)。寝 ている状態でベッドでぐちゃぐちゃして居た。目はグルグル回ってまわった。40分 くらい続いた。G:4040分くらい続いて症状回復。	154	
206	B07013305	12	年	男性	異常行動	2007/3/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/16 インフルエンザに罹患し、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、黙つき がおかしな)が発現。 不明 異常行動は回復。	155		



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	臥床中か否か (臥床中○、 臥床中じゃない×)	寛解直 後に発現	臥床中の場 合、臥床時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一絶りして 完全回復	体温	息遣の乱れ	経脈異常 等の反応	異常な行動 等の家 族	知覚する 反応	性別による 「異常な行 動」の動作 用途	異常な行動 の発現日付	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については発現時に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどと置っているのか？)	旧資料No	
215	B0300982	13	年	男性	①異常行動 ②幻覚 ③幻覚	2003/1/21~ 1/22	朝-夕 2003/1/22 16:00 20:00~21:00	-	-	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2003/1/20 寒、体温37.4℃、関節痛、頭痛、咽頭痛、咳あり。 2003/1/21 朝、前日の症状が悪化、当院受診。インフルエンザB型の診断。同日朝タミフル服用。 2003/1/22 朝、38.8℃、本剤服用。二次感染による咳(+)・痰のためクラリス、メジコン、ムコソリン、リン酸コリン、酸化マグネシウム処方、服、服薬した。19:00 突然夕方と夜から異音で、寝てた時音が聞こえたと感じ、自分の太鼓をたたき、ウチを騒がせた。家族がなだめず騒ぎ続けた。(20:00~21:00)ベッド内で「死んじやう」と叫びたり、ベッドから飛び降り、「逆立ちしよう」とか「高橋愛様はこうする」等の言動あり(受診してはいない)。 2003/1/23 朝、すべての薬剤を中止、体温37.8~38.1℃ 2003/1/24 体温36.5~37.3℃、市販の痛み止めトローチ使用。 2003/1/27 母親が来院、咳(+)あり、クラリスのみ継続するよう指示。	100		
216	B03009902	13	年	男性	譫妄	2004/1/21 2004/1/22 2004/1/23 2004/1/24 2004/1/25 2004/1/26	18:00 朝-晩 朝-晩 朝-晩 朝-晩	-	-	-	30分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	2004/1/21 (18:00)受診、39.1℃、咽頭痛、咳あり、血圧 104/68。インフルエンザと診断、19:00帰宅後、本剤服用、発熱続いていた。(21:30)異常行動出現、家の中を走り回る、階段をかけた上り、かけ下りたり、意味不明の音声、トイレの中でクルクルこまごまに回る。かみつく、激怒暴言、意識不明。この間30~40分ほどか。(22:10)救急車で救急病棟へ、受診時には平穏にもどっていた。体温も平熱にもどっていたこと、意識は正常、せん妄状態時の言動については記憶ない。様子観察のため点滴(脱水)あり、19時帰宅して受診。 2004/1/22 (朝)平熱、咽頭痛、咳少々、本剤そのまま継続、その他の薬もそのまま続行。 2004/1/24 (11:00)診察、38.4℃、異常所見なし、診察室、上記エピソード聴取、急性せん妄と判断、タミフル中止の指示はせず。追加投与もせず。 (2:30)自宅の2階から飛び降りた。外に音が響き、周りに驚かされた。自分で出てきて自宅のチャイムを押し、中に入った。母に「おぼけてないよ、おぼけてないよ」と叫び、自分の部屋に入り込んだ。本人は飛び降りたのは覚えていないが、その理由はわからないとのこと。	102		
217	B05001832	13	年	男性	精神障害	2005/3/16	16:00、23:00	2005/3/17	2:30	-	No	-	Yes	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	2005/3/16 (16:00)発熱、頭痛、咽頭痛、腰痛を訴え、在宅受診。インフルエンザB型と診断。(10:00)38.6℃ 2005/3/17 (2:30)異常行動出現。夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思い込み、家を飛び出し知人宅を叩いた。たまたま通りかかった人に頼んで車で警察署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間後、警察署で事情を聞かれている間に玄関に帰宅した。幻覚、異常行動発現。(10:00)38.8℃ 2005/3/18 B型インフルエンザ発熱。	103	
218	B06022963	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/1/21	朝-夕	2007/1/22	2:00	○	Yes	-	1時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	2007/1/21 (8:00)発熱、頭痛、咽頭痛、腰痛を訴え、在宅受診。インフルエンザB型と診断。(10:00)38.6℃ 2007/1/22 (2:00)幻覚、異常行動出現。夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思い込み、家を飛び出し知人宅を叩いた。たまたま通りかかった人に頼んで車で警察署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間後、警察署で事情を聞かれている間に玄関に帰宅した。幻覚、異常行動発現。(10:00)38.8℃ 2007/1/28 B型インフルエンザ発熱。	104	
219	B06025315	13	年	男性	異常行動	2007/2/28	18:30	2007/2/28	23:05	○	Yes	5時間	5分位	Yes	発熱持続	No	-	-	No	2007/2/28 発熱を伴う風邪症状で当院受診。インフルエンザBと診断され、タミフル、カロナール錠を処方される。(18:30)帰宅後、タミフル100mg(75mg)服用、症状(時間不明)、起床(時間不明)、(23:05)異常行動発現(非重篤)、寛解し、トイレへ行くこととする。しかし、意味不明な発言をし、叫びながらベランダに向かって歩き出したため家族がとりおさえ、すぐに意識清明となる。(23:20)再度当院受診。体温、38.7℃、念のため採血するも異常なし、診察にて明らかな異常なし、異常行動発現後、48時間は目を離さないよう指示し帰宅する。 2007/3/1 (8:00)帰宅する。朝には熱さがっている。 2007/3/2 その後本剤服用せず。異常行動はなし。 2007/3/5 体温、38.0℃、インフルエンザの転帰：軽快・回復。	105	
220	B06026420	13	年	男性	異常行動	2007/3/12	17:30	2007/3/12	20:00くらい	1回目×、2回目○	Yes	-	-	-	No	No	-	-	No	1回目：大きい石がのっていると言ふ。2回目：尿のわらわらないと言ふ。起きて「掃除」と数回呼び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る。その後、走り回り、母親が押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、顔が赤い状態であった。また室内犬を驚かした。犬をゲージに入れるが、驚きでなぜ犬が、ゲージの中に入るのかわからない状態であった。	106	
221	B07000063	13	年	男性	異常行動	2005/12	追加なし	2005/12/9	追加なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 ワクワン掻痒。 2005/12 他院にてインフルエンザ治療のため本剤75mg×2/日投与開始。 2005/12/9 2階の廊から飛び降りようとしたが、家族が止めたため、事象にはならなかった。異常行動があったため、当院にて診察。 不明 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。 2008/1/4 胸餅打撲傷の経過あり。	107		
222	B07000066	13	年	男性	精神症状	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夕食後	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	-	-	-	No	自宅で寝ていたところ、急に起き上がり意識不明な発熱。 廊から外へでようとした。発熱で譫妄状態になったことは以前あり。	108	
223	B07000077	13	年	男性	異常行動	2007/3/13	10:00 22:30	2007/3/14	2:00	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	No	*突然起きて外出する。 *変声発言ははっきりせず、自分の行動を理解していなかった。200 異常行動発現。突然起きて外出、すぐに父親が気づき連れ戻す。その後数日、異常行動の発現時間は不明。	109	
224	B07000130	13	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前	①2007/3/15 ②2007/3/15	①14:00 ②20:00	-	No	-	その時のみ	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	2007/03/15 (朝)体温、39.3℃、インフルエンザB型治療のため、タミフル75mg×2/日の投与開始。(14:00)異常行動発現。退食後に安眠し、寛解後「い」と言いながらベランダに行き、歩みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになった。母親があわてて止めた。(14:10)異常行動回復。(夕)体温、39.7℃。(20:00)39.7℃の熱い発熱(非重篤)。臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくて」と言っている人を見た。母親が「大丈夫」と言い安心させたところ安眠した。(20:10)39.7℃の熱い回復。出陣、3/18朝食後まで本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。 2007/03/19 インフルエンザの転帰：軽快。	170

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	異常な 行動に 関連 する 状況	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	経過 経過	患者の記憶	継続投与 等の状況	継続投与 後の経過	発熱 発熱	他剤による 異常な 行動の 副作用	異常な行動 の発現 状況	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたとどう言っているのか？)	旧資料No
225	B07000272	13	年	男性	異常行動	2007/2/26 2:30	2007/2/26 5:00 7:00	○	Yes	2時間半	数分	No	発熱持続	No	Yes	-	-	Yes	不明 2005/3/10-12 高熱時に解熱剤力ロナーレ使用後、異常行動あり(19/7)と記載 されておりました。 2007/2/25 朝より発熱あり、07時30分当院受診。受診者数多数のため、深夜まで院内 で待ち。 2007/2/26 (0:00)インフルエンザB型と診断。(AMI:40)タミフル60mg×2回/日処方 け帰宅。(2:30)発熱後、タミフル60mg内服し、就寝。(5:00)急に体を起こし、二階の廊 から飛び降りようとしたため、家人がとらえさへ、こたきを奪った。すぐに起き、一階へ 移動して就寝した。(7:00)再び急に起き上がり、今度は一階の高から飛び出してしまっ た。その時、外で階人が水まきをしており、その場で壁にかかり、こたきを奪った。(8:25) その後、当院へ電話で問い合わせがあり、内服中止を指示。以後、異常行動は出現 せず継続した。 併用薬のレスプレンド、ムコダイン、ベリアクテンは発現時未服用。 2007/3/3 インフルエンザ、継続-回復	171
226	B07000412	13	年	男性	落ち着きのなさ	2006/7/8 2006/7/7 2007/7/7	2006/7/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 2006/7/8 B型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(60mg×2/日 - 06/7/7)。 2006/7/8 (朝)寝ぼけて不穏状態となり、2階の部屋から道端に落ちて顔、両膝打撲。 不穏状態発現、顔部CTにて後頭蓋部の骨折、視床下に出血あり他院紹介入院(- 06/7/20)。右膝骨折キブスリ-ネ固定。 2006/7/20 入院入院(-06/8/12)。 不明 不穏状態回復。	172
227	B07001355	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動 ③嘔吐	2007/2/20 2007/2/20	2007/2/21 4:30-5:00	Yes	-	5hr	30分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無 2月20日(24:00)自宅で就寝 2月21日(4:30-5:00)同様に遠いかけられるような、怖い夢をみていたような気がし ていた。急に自分の両足が何かに刺さるのを感じ、その瞬間自分が窓枠にぶら 下がり、両足を10cm程度のコンクリート層の突き出し部分に懸けているのに気が ついた。両足を窓枠にかけ、必死に叫んで部屋に入り、両足の隙間に飛び込んだ。(5:00)父 母が就寝中にバタバタという音とともに息子が部屋に入ってきた。「死ぬところだ、こ わかった」とおぼえた表情、両親が事情を聞くも聞きみせず。「夢でもたのんだろ」と 両親の部屋で休ませた。その時母親は受診の旨「興奮、夢遊病」のことと思った。 (7:30)夜が明けると息子を起すと、両親に抱き寄せ、両下唇の付根、両足底のう れに気づき、息子の事情を聞く。母親が息子の両足を握り、息子が両手を握り、外壁 を見ると10cm出っ張ったコンクリート部分に足跡が残っていた。	173
228	B07001868	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/17	2007/3/18 4:00	-	-	-	数分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無 3月18日(4:00)就寝していた患者が急に起き上がり、顔を掻き回す。たんずを割け る。友達かいると言いつ、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさ え、数分して落ち着いた。熱は39.9℃と高熱。家族が救急車を呼ぶようすが落ち着いて いるので様子を見た。	174
229	B07002055	13	年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	-	No	-	9時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無 3月2日本剤75mg内服して3-4時間後に「友達かペララから落ちた」と発言。表情も おかしかった。聞いてかき答えられず、そのまま帰した。(16:30)両手洗の場所であ うと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の顔を覗いていた。その後「人を殺した」と 発言。他院に電話したところ、本剤は中止するよう言われた。暫くして意識清明となり、 おなか痛。オシロイを見た。水分を取っていた。 3月2日(3:30)自分が悪いと悪い悔めた。うそ-と苦しそうにしており、リビングを駆けず り回り、「殺したい」と連呼。救急車を呼ぶ。救急車到着後、後頭部を打撲。ぼーっとしている感じでは あったが、名前を言えた。こちらの要請に応じていた。 当院救急外来受診後、ラウテック1000mL輸液、その間異常行動なし。意識清明。家族 の強い希望あり、入院して経過観察することとなった。	175	
230	B07002997	13	年	女性	①大発作痙攣 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	2007/3/17 21:30	×	No	-	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無 A型インフルエンザにて本剤(DS)の服用歴あり(副作用なし)。 2007/03/17(18:00)末院、B型インフルエンザの診断。帰宅後、本剤75mg内服。この時 体温40℃、(薬)向事もなく、ずっと寝ていた。(21:30)目を覚めると自分で歩いた。この 時体温35.5℃、自家がより階段を下りたところ、「こわい、こわい」と叫び出し、壁を 両手でバタンとたたき、その直後、意識がなくなり倒れ、両手を曲げ硬直した状 態となった。けいれんを約1分間起こし自然に止まった。5分後には言語に反応するよう になったが、「うん、うん」と言う程度。その後は再び自宅で寝ていた。「体のどつが上 でどつが下かわからない」とも言っていた。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せ ず。 2007/03/18(朝)いつもと同じ様に起床。「こわかった」とだけ言っていた。熱もなく、元氣 になっていた。意識回復しけいれん、異常行動回復。朝、本剤の服用は止め、夜のみ 服用。	176
231	B07004029	13	年	男性	譫妄	2007/3/18	2007/3/20 10:00	○	Yes	-	1時間	-	発熱持続	No	No	No	-	No	無 2007/03/18 B型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始、(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に關して、 時間は不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(廊下の途中)から飛び降 り、部屋の椅子を倒して外へ出て行った。1階にいた祖母が呼び寄せた。(10:30) しどろしどろと歩いていた。歩む時の体温39.4℃。患者によると驚い、手を握り、何 かに言いかけられていたような気がした。そうであるが、階段を飛び降りたり椅子を倒し たりしたことは何も覚えていなかった。	177
232	B07013251	13	年	異常行動	2006/2/1 2006/2/1	2006/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回服用の4時間半後に痙 になって外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2006/2/2 異常行動は回復。	178
233	B07013258	13	年	男性	幻覚	2006/1/29	2006/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/1/29 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開始。本剤 服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2006/1/30 幻覚(異常行動)は回復。	179

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時		試験中か否か (試験中○、 試験中じゃない×)	発熱後 後に発現	試験中の場 合。試験時 期から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体調	患者の記憶	医師受診 等の状況	継続投与 後の経過	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動の有無	異常な行 動の発症 時期	旧資料No
						2006/02/01	夜遅く	○	-													
234	B07021878	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/2 2006/2/2 2006/2/3	夕 朝 夕 朝	2006/02/01	夜遅く	○	-	-	-	Yes	発熱持続中	Yes	-	-	-	-	No	
235	B08027727	13	年	男性	異常行動	2008/12/30 2009/1/2	朝・夕	2009/12/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
236	B08030608	13	年	男性	異常行動	2009/2/10	-	2009/2/10	夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
237	B05002487	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	18:00	2005/2/5	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180
238	B05017753	14	年	女性	譫妄	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	夕 朝 夕	①2005/3/2 ②2005/3/4	①朝 ②-	-	No	-	No	No	解熱過程	-	No	No	No	No	No	181
239	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/28 2004/1/28	朝 不明	2004/1/28	昼間	-	No	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	Yes	-	182
240	B05024748	14	年	男性	異常行動	2006/2/18	夕方	2006/2/18	24:00	○	-	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	183
241	B05024963	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2006/2/13 2006/2/14	夕 朝	①2006/2/13 ②2006/2/14	①- ②4時間後	×	No	-	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	No	184
242	B05025213	14	年	女性	異常行動	2006/1/21	10:30 20:00	2006/1/21	12:00 22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	185
243	B05025476	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③嘔吐	-	-	-	-	-	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	186

異常な行動の具体的な詳細  
(例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、誰が幻覚を見ていたかどうか?)

2006/02/01(午後)夕方、本剤を服用、就寝。夜中突然起き出して、布団の中でぐんぐん走り回り、壁の中を走り出した。裸になって、少しは落ち着いた。再び走り、直状は起さず。本人も一歩は覚えているとのこと。翌日から本剤を内服したが、異常行動は起こらず。

2008/12/31  
(朝)本剤投与。熱なし。  
(昼)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。押入れに入り、天蓋を開けている所を見て何しているかたずねると、「何かあるかなーと思って登ってみた」と言っていて押入れから出る。  
(夕)本剤投与。  
2009/01/01  
(朝)本剤投与。熱なし。  
(昼)室内で1回転倒。室外で1回転倒。足捻挫。  
(夕)本剤投与。  
2009/01/02  
異常行動の転帰:回復

2009/02/10  
他院受診。インフルエンザと診断され本剤処方される。  
2009/02/11夜中  
夜中に歩きまわった(医師重篤度:非重篤)発現。  
2009/02/12  
転帰:回復

2005/2/5 (11:30)発熱、咽頭痛、関節痛で受診。鼻腔内サンプルでインフルエンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害。精神症状はなかった。(18:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)帰宅自宅より転倒。(23:05)他院にて出血性ショックにより死亡。

①朝より「外から誰かが見ている」「家の中に知らない人がいる」夕食でサラダを出す「誰が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。朝のうちに家中の窓を全て全開にしてまわるなどの異常行動あり。落ち着きがなく家中をうろちうろちするため母親が部屋に連れていった。小児精神科などいらいらな科を回られ精神安定剤の注射をされ、せん妄と診断された。  
②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すんでしょ」などの自殺念慮発現あり。  
1カプセル服用後2日の間に遠いところへ行って帰る方向に向かおうとして走り出した(マンションの階)。結果、不審受診。発号は射がけてあり、車にはならなかったが、両親二人がかりで押さなければならぬ程の方で暴れた様子。

2006/2/11 インフルエンザ発症。  
2006/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅で眠っていた。(0:00)2層より飛び降り。両足骨折。異常行動。両足骨折発現。  
2006/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアにパジャマで裸足のままどこかを警備に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨骨折。左第3指中足骨骨折。両足部外傷性皮膚欠損あり。自宅直に搬送しておりの下のコンクリート部からコンビニエンスストアに向けて血痕が認められた。ザーンで経頭蓋的。なごり状態発症時は意識状態は良好な。異常行動発現。(4:00)髄液検査実施。頭部CT実施。結果:骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。明らかな浮腫や出血を疑う所見を認めない。  
2006/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。  
2006/2/22 脳波MRI実施。結果:明らかな異常所見は認められない。脳実質に信号の異常なし。拡散強調画像で有意な高信号なし。impression:異常を認めず。  
2006/2/23 インフルエンザ軽快。退院。

2006/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg/2日投与開始。  
本剤内服後、少し変なことを言っていたが徐々に増えたので家で様子を見ていた。意識障害(軽度)発現。世話を焼いた(意識不明)。  
2006/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして服を飲んで突然家の外へ飛び出したところ、家裏が気づいて連れ戻すエピソードがあった。その後1つもできるようなことができない。わからないということが少し続いた。行動障害(重度?)発現。(10:30)家裏より今は落ち着いているようだという連絡があり、総合病院を受診するように指示した。  
2006/2/15 (朝)家に電話して様子をおねたところ、総合病院を受診して血液検査とMRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。  
2006/2/24 家に電話して様子をおねたところ、総合病院の検査はいずれも異常なしとのこと。現在特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたことが判明。インフルエンザ軽快・回復。

2006/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレでいきんだ後、白目を向いた感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常なため一旦帰宅。(20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起きあがり「おちんこめんなさい」などと意味不明な発言がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点滴後もフラフラするというため、経過観察のため翌日入院することになった。  
2006/1/22 発熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態等も正常であった。  
2006/1/24 後日外発で回復検査予定として、退院。

不明 インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2回/日×2日間)  
不明 異常行動、意識障害、嘔吐発現。脳波検査にて脳波改善。異常行動は起こらず。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試験中か否か (試験中:○、 試験中じゃない:×)	寛解直 後に発症	試験中の場 合、就寝時 間から発症 までの時間	回復までの 時間	一環して 完全回復	体温	発熱の 経過	意識 障害の有 無	痙攣 発作の有 無	痙攣 発作の重 さ	先に発症 する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の発 生	異常な行動 が原因か 不明	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的な内容が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか?)	旧資料No
244	B05025583	14	年	男性	異常行動	2006/2/20 夕 2006/2/21 朝夕 2006/2/22 朝夕 2006/2/23 朝夕 2006/2/25	2006/2/20 11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/19 発熱あり。 2006/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断、タミフル75mg×2回/日処方し、ただちに1歳服用。 (11:00頃)寝ているが、突然階段をどたどた駆け降り、学校へ行かないかと云ってかばんを背負って外へ飛び出そうとした。T.直家人が取り、本人を取り押さへ、今日は学校に行かなくても良いと云って落ち着かせた。異常行動発症。異常行動の持続時間:不明。 (12:00頃)症状軽快。その後本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は突然によるものと考え特に注意はしなかった。 2006/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服後終了。	187
245	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②意識 ③錯乱状態 ④嘔吐	2006/2/5 夜間	2006/2/5	-	No	-	No	Yes	発熱持続	No	Yes	-	No	No	No	観察覚悟	小児科 本剤服用にて異常行動(意識不明)発症。異常行動回復。 2006/1/17 38.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/Bともに陰性であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シメトレル21/日投与。その際は発熱にも関わらず、異常状態などの訴えはなかった。 2006/2/5 日中発熱にて休日急症診療所、A型インフルエンザと診断され、本剤(75mg)2回/日、5日間処方。発熱本剤服用後、異常状態になり家の中で大声を出して動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状態だった。2時間毎にこのような異常状態が出た。興奮、錯乱状態、嘔吐症発症。 2006/2/6 正確な時間はわからないが、寝て状態的に落ち着いた。本人は全く覚えていない。興奮、錯乱状態、嘔吐症回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るように指示。その後の経過は無し。	188
246	B06024434	14	年	女性	転倒	2007/2/16 昼	2007/2/16 12:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/15 朝から寒気あり、夜より発熱。 2007/2/16 (8:45)当院受診にいた。発熱、体温38.2℃、喉が少し、鼻水が少し、喉の痛みを訴えていた。診察時、異常な行動のみならず、精神・神経系の異常はなかった。 (10:00頃)インフルエンザB型と診断、タミフル、ユニブロン坐薬、PL錠剤、マーズレシスを処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:46)自宅マンションより転落のため、他院に救急要請あり。(12:56)救急隊到着し心肺停止の状態。(13:03)病院で、心肺蘇生(成功を行った)、反応を示さず、(13:34)死亡確認。警察による検案あり。前科は同業を併せず。 <新聞記事からの情報> 2007/2/16 午前中に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養していた。(12:45)自宅マンション敷地内で車を走らせて倒れているのを発見された。自宅前の道路の手すり(高さ1.4m)から1階建程度の屋根に転落後、地面に落ちた。母親は出かけたため、転落当時を一人だった。患者は黒色の上下のスウェット着て、髪は長いではない。患者は全身を強く打ち損傷したと報告されたが約1週間後に傷がシブクで死した。	189
247	B06024795	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/24 18:30	2007/2/27 1:20	○	-	寛解後す に発症	No	No	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無し	2007/2/26 朝、発熱、38.9℃。「音が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であった。クラスでインフルエンザが流行していると聞いていたので、インフルエンザB型と診断。意識状態についてはわからない。既症、合併症は無し。初診ではないため、感染源不明。タミフル75mg×2回/日(5日分)、カロナール200mg(2錠/日)処方。 2007/2/27 (1:47)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JCS300。顔面は顔面発赤、上唇、下唇など原形を認めず、マスク換気とともに耳出血が噴出する状態。四肢も多発性の開放骨折。心肺蘇生を試みるが、全く反応なし。 (2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/28 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚まして母親を起こし、原形を飲もうとしたが、前の風呂から所定の8時間がたっており、服用を見合わせた。(1:47)その直後、「トイレに行く」と言って原形を裸れ表に出た。玉便の量をまず音が気になって後を追うと、患者は洗面所の外に洗面台を足かきで乗り越え、転落したという。頭などを強く打ち、前内の歯隙に運ばれたが、間もなく死亡した。	190
248	B06025006	14	年	男性	異常行動	2007/2/17 17:00	2007/2/17 20:30	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	No	無し	1階にいた母が2階が騒がしいことに気付き見に行ったらとと、足元がクロロゼット内に張り込んでいた。その後走り回り、階段の手すりに足をかけた。母親をかきおさるような動作が連続した。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到着時は意識清明。	191	
249	B06025885	14	年	男性	異常行動	2007/2/25 19:00	2007/2/25 23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無し	(2007/2/25 23:00)トイレに行くようベツから立ち上り上りた。トイレへ行き戻って行くもトイレの中、壁に向かって暴言。ふらふら歩き出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 15:00)異常行動回復。	192	
250	B06028126	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23 夕方	2007/02/25 AM3:00頃	○	Yes	-	5-8分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無し	突然起病。家族はトイレに行くのかと思っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意識消失し転倒。その直後母で家族に発見される。意識消失は2-3分間。その間意識は認めない。 後遺症有り。	193	
251	B06026444	14	年	男性	異常行動	2007/2/23 19:00	2007/2/23 21:00	×	No	-	3時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無し	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(16:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(18:00)夕飯後、タミフル75mg服用。(21:00)「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気付き、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発症。(24:00)3時間程度落ちつかなくなったが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)平常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回復。	194	

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚覚悟 等の反応	視覚覚悟 等の反応	先に起す 反応	他剤による 異常な行 動の既往	異常な行動 の既往	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	旧資料No
252	B07000123	14	年	男性	異常行動	2007/1/8 16:00	2007/1/8 16:30 20:00	×	No	-	-	No	発熱持続 中	-	No	No	-	No	No	2007/01/08来院時、体温38.2℃。 (18:00)インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/回内服。 (18:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア、「俺を殺す気か？」と言った。 (20:00)2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。熱38.0℃ 「死ぬと言うのか？」という言葉に母の呼びかけがどうしたの」により意識が戻った。そ の後は普通。ご登校。 (22:00)2F寝室で就寝。 (24:00)意識もうろう「何で、何で？」と言い出した。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意 識が戻った。「お母さんがなんているの？」と言った。熱37℃。 2007/01/09 08:00熱が下がって普通。 異常行動回復。	
253	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	2007/3/8 8:35	-	-	少なくとも2 ~3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	No	-	No	なし	2007/3/7(16:00頃)学校帰路時目撃より発熱、早速近江東診療、インフルエンザB型と 診断。タミフル1回75mgをすぐ内服。(18:30)タミフル2回目75mgの服用。 2007/3/8 就寝した時間起床時間は不明だが、8:35分には起きていた。(8:35)異常 行動、意識障害発現。子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると 当該患者がベッドで座位となり、窓から身を乗り出でてうめき声を発していた。しばらくして 落ちた音が、その後一人でトイレに行き、排泄をしている間に意識消失。2~3分程 度継続。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復 していた。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのでうめき声を発した が、窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害 回復。念のため静脈ラインを確保し入院。 2007/3/9 朝より解熱。入院後、異常行動なし。頭部CT検査を行い異常なし。退院とし た。	195
254	B07000158	14	年	女性	異常行動	2007/3/18	2007/2/18 2007/3/18	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2007/3/18 患者は動脈の通せんぼで、インフルエンザを発症。(夕方)他院処方により、 本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前中)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後) 異常行動回復。入院発熱。	196
255	B07000182	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	2007/2/3 23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	不明	2006/2/3 (第)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。 (21:00)分の本剤75mg内服後、就寝。(23:00)突然起き上がり、声を出しながら内容は 不明な発声の音より階下へ飛び降りた。この音に母親が反応したが、突然の行動のため 制止することができなかったこと。直後に母親が聲で急いで駆けつけ、倒れていた。直 っている状態を確保。ボートしている状態であったが、話しかけには返事をしていたと のこと。そのまま就寝させ。翌日には意識は全く清明であった。 2006/2/7 タミフル投与終了。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2006/2/13 腫瘍は特に処置せず。約10日後で軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転帰確認日)	197
256	B07000208	14	年	男性	異常行動	2007/3/8	2007/3/8 14:00	○	Yes	-	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	No	-	Yes	-	無	(10:30)本剤75mg投与。(14:00)寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手を伸ばさ り歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ちた。投与後劇的に中止。入院 にてSTJ輸液で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタバか せることがあったが、その後はみられなくなった。	198
257	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/3/*	2007/3/*	○	-	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	不明	2007/3/19 (9:00)38.2℃。朝、インフルエンザBと診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:00)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ反応なし(10分)。その後、回復し就寝。 2007/3/20 (1:30)突然意識なし。2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの軽快・軽快。	199
258	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/18	2007/3/16 14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	ズボンをはいていないのに「はいている」という。異常して死ぬ「こわい」と叫ぶ。 3月18日12:00から14:30まで就寝。14:30から15:30まで副作用発現した。15:30から18:00 まで、観察しその後入院。	200
259	B07000281	14	年	男性	①幻聴 ②異常行動	2007/3/6	2007/3/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/3 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃での発熱がありボーとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、18:4 0当院救急外来診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフォームド コンセントの元、本剤5日分とアシピバを処方。 2007/3/7 (5:00)母親から電話があった。当直医が対応したところ、母親が外から呼 んでいるというような幻聴があり、自宅玄関3階から外へ出ようとしたため制止した。 その後の当院受診はなく、軽快は不明。	201
260	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②痙攣	2007/3/14	2007/3/14 23:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	不明	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 床の中で平足動作(手をバタバタさせたり起き上がりうろたえたり、物に話すような動 作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたところ改善した。記憶は定かではなかつ たとのこと。症状回復。	202





異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	服薬中か否か (服薬中○、 服薬中じゃない×)	発熱 後に発現	服薬中の場 合、服薬前 から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	服薬量等 の誤り	服薬量 等の家 長	光に対する 反応	性別による 「異常な行 動」の割合	異常な行動 に付いた注 意	異常な行動の具体的な詳細 (※：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たか？と答えているのか？)	追資料No
268	B05001829	15	年	男性	①過激 ②興奮	2005/3/20 10時過ぎ頃	2005/3/20 11:30	×	No	—	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2005/3/20(11:30頃)強い興奮で眠れないことを言いながら歩き回っているうち、右上肢屈曲硬直、右に傾き立っていらなくなり、家人が支えた。激しい振盪は全身に波及し、首でかかえてストレッチャーに乗せた。病院到着時、38.1℃、ややぼおとするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや硬直(+)(口を動かさにくい)硬直、モニター騒音、RHAにて呼吸を開始。顔部CT:異常なし、脳波:異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはずす。	210
269	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②嗜眠	2007/2/8 2/9~2/12 2007/2/13 夕 時~夕 暮	2007/2/13 午前	×	No	—	No	No	解熱後	No	—	—	—	No	無	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2日 ~2/13)、 2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/02/13 (午前)学校で授業中突然歌を歌う、異常行動発現。目録が定まらず(目録が合わない早退、帰宅後も嗜眠傾向となり、自宅静養。(JCSでケケ以上というわけではない、JCSはほぼ1) 2007/2/18 (午後)症状続くためA病院より紹介。硬直、過激、顔CT異常なし、脳MRI、脳波は途中で興奮して最後まで撮れなかったが、撮れた分は異常なし。精神入院、ソルデム2.5Aの点滴。 2007/2/17 (8:00)自ら抜針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相談し、外出一外泊とする。 2007/2/19 (午前)帰郷にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可解。父母への暴力行為もあり、再び外泊とする。 2007/2/21 (父母に相談の上、急病を診察。 不明 薬で少しまみえても10分もすると「燃れた」というなど、集中力低下が主体となった程度の症状へ変化してきている。 2007/2/23 精治通院とする(本人が病院に戻りたくないと言って聞かない様子)、家では復旧、父母と共に聴取したがその傾向これまでは全くなく、父母が外出するど早く帰ってきてと携帯電話にかかってくる。(これも奇では全くない)、徐々に集中力や視覚は回復しつつあるようでも動も行くようになって、入試前のテストがあった。 2007/2/28 2/13以降の一通の行動を自覚しはじめ、全く覚えていないと言、この頃より学校の授業を受ける様子が見えてきて集中力が出てきたと担任より報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却され本人も驚くほどに悪い点数だったとのこと。2/28~3/1の時点で父母から見て、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷た(とされていた時期があり、本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波は遠慮したいと申し出あり。	211
270	B06024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17 星 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18 1:00 7:40	×	No	—	7時間	—	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/2/17 学校の保健室より38℃の熱があるので帰宅させますが、今日病院に連れて行きますか？と母親へ電話。母親が寝まで通え、その足でA院へ行きインフルエンザと診断。(薬)タミフル服用。(22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18 (1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)、しかし両親は暴れた姿を見ていない。目がさわっていた。異常行動発現。(7:30)再度暴れた。玄関のドアを叩くようと思ったが聞かれず、台所へ行って缶を所持した。話し合いの前で缶の列を自分に向けている姿を両親が発見した。缶は足元に落とされた。家裏には自衛行為を見えたとのことで話を話しそじになったから自分の方を打った。とどこどころ記憶ある。全ては覚えていない。(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救急車へ電話。(8:05)B病院救急外来に到着。38.7℃。タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽快。異常行動軽快。 (時期不明)体温:38.6℃ 2007/2/19 かかりつけのC院来院。体温:38.4℃。	212
271	B06026296	15	年	女性	①過激 ②興奮 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 19:00	2007/03/14 21:00	—	—	—	15分	Yes	—	No	No	No	No	No	不明	2007/3/12 初来院時はインフルエンザキットで陰性だったため、フロモックスとPA錠を処方。 2007/3/13 翌日になっても熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1/日の投与開始。 2007/3/14 (不明)タミフル75mg×1/回投与。(18:00)タミフル75mg×1/回投与。(21:00)夜になり興奮(非重篤)・手の震え(非重篤)が15分続き、その後寝た。起きてからはそのようなことはなかった。また、夜から発熱が再発。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひらひらと顔に紹介入院になったため、その後の経過は不明。	213
272	B07000085	15	年	女性	異常行動	2007/3/6 22:00	2007/3/7 1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/6 (18:00)体温:38℃。(11:00頃)インフルエンザA型治療のため、本剤75mg、カロナール生薬200mg投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7 (1:00)醒めていたが、大声を出し突然起き上がった。大声を出し、部屋中をウロウロ走り回ったため、家族が制止した。目つきも狂っていた。異常行動発現(2:00)、(2:00~5:00)臥床し多汗。(5:00)就寝。(11:00)寛解。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復	214
273	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/16 ①13:30 ①18:00	①2007/3/15 ②2007/3/16 17:00 11:30	—	No	—	15分	Yes	—	No	No	No	No	No	無	3月15日 17:00異常行動発現:トイレに行くといって玄関に歩いていったので家裏が止めに入った。その後寝た。3月16日 11:30異常行動が発現、トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び顔を持ち倒れる。	215
274	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6 19:30	2007/3/7 1:30	—	—	—	数秒	—	—	Yes	No	—	—	No	なし	2007/3/6 (17:00)38.7℃。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型陽性。タミフル75mg/日投与開始。 (19:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7 (8:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かの道いかけられている夢を見た」「玄関から飛び降りた」とした。(10:30頃)廊からガラスの扉とガラスをあけて、戸外にとびおちた。飛び降りた瞬間に意識が戻った(患者本人の申告)。(10:30頃)自力で自宅に戻り、家人(同院)に連絡(患者本人の申告)。(8:00)当院に搬送(搬送、CT脳)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い2階だったため命に別状はなく、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えば大惨事になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復。	216

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：総投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
\*：総投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試液中か否 か (試液中に○、 試液中にない は×)	発熱 発熱 発熱	試液中の場 合、試液中 の時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚覚醒時 等の存在	聴覚覚醒 症等の存在	発熱 発熱	他剤による 「異常な行 動」の動作 用途	異常な行動 に関する注 記	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	出典料No
275	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2 20:00	2007/3/3 5:00	○	Yes	8時間	4~5時間	No	解熱持続	Yes	No	No	No	No	2007/3/2 (午後)受診、熱38°C超でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、 食後に本剤75mg×1/1日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (9:00)噴嚏として起床。室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄干 を飛び降りようとした。母親が制止した。どうしよう1階リビングから1階ベランダへ 降りた。など意味不明な言動と歩行不審が1時間続いた。(9:00)頭痛発症。(9:00) 起床。(9:00)熱37.1°Cで意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。 本剤1回投与中止。解熱剤等の服薬なし。母親が当院の看護師という事で、9:00 意識は回復と判断したに当院へ連れて来た。 (9:15)医師が正常と判断。異常行動回復。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定 せず。	217	
278	B07001358	15	年	男性	異常行動	2007/3/3 -	2007/3/3 -	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	No	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。異常歌がする。親 の首を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。	218	
277	B07001670	15	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作痙攣	2007/3/19 14:00	2007/3/19 23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月19日(23:00)異常行動(風呂場)に行き、浴槽で頭を打ちつける行動を表現。少し出血し た。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、6分。その後、強直発作 10秒認められる。 3月20日(9:30)トイレに入った時に脱力し、意識消失(倒産)を伴って反応なし発起 し、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。 呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。	219	
278	B08006353	15	年	男性	異常行動	2001/2/8~ 2001/2/13	2001/2/13 -	×	No	-	13日	No	解熱後	-	-	-	-	-	2001/02/08 (タミフル)投与後発熱のため、本剤カプセル75mg、アセトアミノフ ェン400mg、他剤の服用開始。 2001/02/09 体温38.0°C。 2001/02/10 体温37.0°C。患者は食事ができなかった。 2001/02/12 体温は正常範囲に落ち着いたが、嗜睡状態は続いていた。 2001/02/13 本剤最終服用後(本剤服用開始6日目)、受診。投与中、患者は姿勢よく い正座をし、大きな声で歌い始めた。他の生徒とコミュニケーションをとることはでき ず、患者の目には驚かす人が入っていた。患者はせん妄状態だった。両親が患者を 家に連れて帰ったとき、患者は再度嗜睡状態となった。行動には明らかな異常は認め られなかったが、患者は学校に遅れたことがあった。 2001/02/17 それから4日後、両親に連れられ、阪急梅田受診。市立病院を紹介され る。タミフルによる異常行動を認められ、退院。 尿検査、完全血球算定検査、血液化学検査、胸部CT、脳MR、EEGなど一連の検査で 異常は認められなかった。血清アンモニアレベルにも異常はなかった。入院前の診 察で患者は「自分のマスクに虫がいる」と言っていた。幻覚が発現していることが疑わ れた。 入院時、せん妄に特徴的な症状が認められた。患者は朝顔を盗み取るなどし、まもなく は室に閉じたいと叫んだ。「ここは病院ではない。老人ホームだと考えた。主治 医は、患者をここに何日も置いておけないので、数日間(17-23日)退院させるべきと判断 した。 2001/02/19 SPECT検査を受けるため、両親に連れられて病院に戻った。しかし患者 は建物に入るのを嫌がった。結局、検査を受けることはなかったが、患者が異常した め全ての検査を終了することはできなかった。 2001/02/20 患者はつめの病院を紹介されることになった。自分の番までじっとして いることができず、病院の外の道で車を轢かれそうになりながら走り回った。 2001/02/22 特に大きな問題もなかったため、両親に連れられて受診を試みた。 2001/02/23 退院 2001/02/28 28日(月)、27日(火)は受診した。患者の異常行動は、標準で友人からの メッセージを頼んだ後だけに発現することが分かった。このことを患者自身でも恥ず かしく思っているが、自分が何をしたかを思い出さずにはできなかった。異常行動後、 患者は全くの正常状態に戻った。本エピソードは、本剤初回内服から18日間継続し た。最初の発熱から正常状態に戻るまでは18日間続いた。また嗜睡状態の発現から は14日間、異常行動の発現からは13日間を、回復までには13日間を要した。	220	
279	B05021030	16	年	男性	譫語	2005/12/27 2005/12/28	2005/12/28 14:30	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	(14:30)赤と口痰。異常状態となり、鼻を「殺す」「死ぬ」などの発言もあり、弟達 が包丁などを金で隠した。その後本人は自宅を飛び出していくも、その後しばらくして 自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常 行動は見られていない。	220	
280	B06025041	16	年	男性	①煩燥 ②異常行動 ③失見当識	2007/2/2~ 不明	2007/2/5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①煩燥、目つきがしっかからない。動作やや頓挫、ボーとしていた。 ②いきなり立ち上がった。ボーとして走り、母親が声をかけるのに「からへん」と返事。2 階で休んでいていきなり起き上がり、階段の電気をつけたが下に降りずにまた上りて 戻ってしまう。普段から食事はそれぞれのおかずをまんべんなく食べるのに、一息ずつ 片付けていくという普段とは違った食べ方をした。 ③学校で自分の席につくのが遅くて、早退を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか 覚えていない。学校への連絡がわからない。	221	
281	B06025191	16	年	男性	譫妄	2007/2/16 昼、不明	2007/2/16 21:45	○	Yes	-	15~20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	2007/2/14 当院にて給がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。両親が高 熱を呈した場合、成人であれば本剤を1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザ症状(39°C近い発熱)が出たため、基壇時に処方さ れた本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。緊急検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃) 意識障害(せん妄状態)非重篤(発熱)30分間持続。(22:00)意識がぼやけ出すようにな ったが自宅に入った。せん妄状態にもかかわらず、(朝)覚醒時に連れて来たところを 家族が発見。外傷などはなかったが、中2時から絶食した様子で本人は記憶なし。まだ 熱が出ているので本剤75mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.9°C)	222	



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時	就寝中か否 か (就寝中・心、 就寝中じゃない)	異常な 行動に 関する 発見	就寝中の場 合、就寝時 刻から発症 までの時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	経路異常等 の既往	発熱 発症 等の家 族歴	光に対する 反応	聴覚による 異常な行 動の動作 特徴	異常な行動 に関する 既往	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたと述べているのか？)	旧資料No	
291	B07004079	17	年	男性	異常行動	2005/11/28 18:00 2005/11/29 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/20 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	2005/11/28 21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(-05/11/29)突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としかかった口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンションのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時も口で「大丈夫」と言っていた。 2005/11/28 異常行動回復。	231
292	B05025437	11	年	男性	異常行動	2006/1/11 10:00, 18:30	2006/1/11 21:00	○	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	2006/1/10 (夜より)発熱。 2006/1/11 (10:00)学校早退し初熱、39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)39.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は継続)。異常行動回復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。	232
293	B06028848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動	2007/3/23	朝	2007/3/25	朝	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	前より着替を着たり、死にたいなどと言ったようになった。昼間、2階の窓より飛び降りて胸を刺す。診断は胸椎第一-第二骨折及び腰椎第一-第二-第三圧迫骨折。入院後、母は手術のリストカットの痛みに気づいた。	233
294	B07013137	18	年	男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/14	夕	2007/3/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)インフルエンザ(タミフル)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出した。本人は何故かからたかの記憶がない。走って飛び出したのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら出たことと、本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。	234
295	B07013378	18	年	男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	不明 (夕)インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初投与2時間後、異常行動発現(非重篤)。驚いて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 2007/2/2日 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も暴れるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤2回目投与時には症状は発現しなかった。(夕)本剤75mg内服。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。	235	
296	B05022154	18	年	男性	①落ち着きのなき ②激怒	2006/1/11	12:30	2006/1/11	16:00	-	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	突然発熱し、大声を出し、不審。異常状態で「お」をこぼして叩き出し、激怒などをし、テレビを割る程だった。この際3-4分間の発熱でその後直気に戻り、家人が出血した両手甲の手拭きを洗い、落ち着いた状況となった。	236
297	B06005344	19	年	女性	①健忘 ②自傷行動	2006/2/1~ 2/5	朝-夕	2006/2/5	0:00	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見:発熱(37.7)、頭痛、嘔、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、倦怠感 2006/2/1 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg x 2/日の投与開始(確定診断未実施)。(午後)発熱後、高熱。 2006/2/3 (0:00)友人と1時間位電話を話したが、電話したことも内容も覚えていない。自傷行為(リストカット)と非重篤。記憶喪失(非重篤)が発現。(午前10:00)健忘。(午前5:00)指を刺すと言った手首の切り傷に気が付いたが、切ったことも覚えていない。自傷行為(リストカット)。記憶喪失は回復。その後再発なし。 2006/2/6 インフルエンザの軽快・軽快	237
298	B07007066	19	年	男性	異常行動	2007/5/17	20:30	2007/5/17	21:30	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/5/16 (昼頃)発熱、嘔、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:18)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型)と診断。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.9℃、嘔、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ) (20:30頃)当院で本剤75mg x 1/日、コナール200mg x 1/日(発熱時頓用産産用)投与した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこぼしたり、うろつて状態がおかしくなったと姉の訴。異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)眠っていたが突然起き上がり、大声で叫んだり、わめき騒いだりしたような状態で、家族の制止にもかかわらず自室から出ていこうとするような異常行動あり。(1:37)母の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と判断し即入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない) 入院後は経過観察のみ。(19:00)発熱なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9℃。咽喉痛はあるが、症状は軽快しその後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。	238
299	B08028890	19	年	女性	異常行動	2008/1/14 2008/1/15	午後 午前	2008/1/14 2008/1/15	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/14 インフルエンザ治療のため本剤75mg投与開始(-2008/01/15)。 躁状態(統合失調症様症状?)発現。気分高揚を自覚。 2008/01/15 「私は死んだほうがいい」とベランダから飛び降りようとする行為(母が制止)や「大学は私が創った」といった誇大な妄想や人物認識などがあつた。 2008/01/20 当院入院中で、薬物療法を継続中。 不明 躁状態(統合失調症様症状?)の軽快:不明	239



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：総投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現した事例  
 \*：総投与後に異常な行動を含む精神神経症候を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	状態中が か (状態中:○、 状態中じゃない:x)	意識 喪失に 移行	試験中の 場合、 試験開 始から 発現ま での時 間	一服して 完全回 復	体温	患者の 記憶	睡眠時覚 醒の既往	睡眠時覚 醒の家族 歴	発熱に 対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作 用	異常な行 動に 関する 追加 調査	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどきっているのか?)	回答No	
309	B00025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22 20:00	2007/2/22 24:00	○	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	-	-	No	無	2007/2/22 (18:00)発熱のため、当院受診。インフルエンザA型と診断。タミフル75mg2回、分2、5日間処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱著明。(21:00)就寝。(0:00)何とも思えない様な気持ち。動作等があり、不穏状態となる。ベランダのある部屋に行き、電燈を消し、窓と入り口の閉まりきりついで、結局、ベランダに出て地上に落下。(朝)状況になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨折した。気分は落ち着かず。転落後意識清醒となり、救急病院を受診。左足根骨骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。発熱時から内服薬として処方したロキソニンも服用したかどうかは不明。この日薬は飲まなかった。 2007/2/23 (0:27)骨折のため他院へ。その際意識もはっきりして、体温も38℃台であったと当日当直の医師談。 2007/2/27 右足骨折。手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/8 手術。 2007/03/14 退院。	248	
310	B00026629	32	年	女性	①頭痛 ②嘔吐 ③腹痛 ④関節痛 ⑤根毛症 ⑥意識消失	2007/3/12 10:00 2007/3/12 19:00 2007/3/13 朝	2007/3/12 22:00~翌 8:00	○	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	No	Yes	無	2007/3/3 親戚のインフルエンザ様性の子供と接触。 2007/3/8 頭痛、嘔吐、発熱の症状始まる。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状:全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体温37.1℃。インフルエンザA型と診断。点滴:1/273 200ml+VC500mg+ネロン14ml+タムフル75mg+ロキソニン300mg。(18:00)点滴終了後、タミフル1カプセル服用。(17:00~21:00)就寝。(18:00頃)タミフル1カプセル服用。 (22:00)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。トイレからトイレに行った際の行動の自覚なし(無意識状態)。意識消失または一過性意識喪失。その後、ほぼ3時間毎に目覚めた(3回)が、これらは全部行動がなかった。 2007/3/13 (8:00)意識消失または一過性意識喪失。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00頃)根毛症様。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/16 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/17 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/18 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/19 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/20 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/21 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/22 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/23 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/24 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/25 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/26 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/27 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/28 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/29 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/30 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/31 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/4/1 頭痛(非重篤)、腹痛(非重篤)発現。本剤服用。起床時より右足関節痛が引けなく強い痛んだ。足関節痛(非重篤)非重篤発現。その後、強い頭痛(引けなく)と嘔吐(引けなく)が出現。嘔吐(非重篤)、頭痛(非重篤)、アロファル5.0mg服用(引けなく)。この症状は1日中続いたため夕方のタミフルは服用せず。(20:00頃)再度入院した時、異常な嘔吐(通常よりも多いと感じた)を認め、しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。	249
311	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1	2007/3/30 夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/30 インフルエンザに対して(体温38~40℃)で、本剤75mgを内服開始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をかける下り。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。	250	
312	B03000831	35	年	女性	①加害過剰 ②不安 ③不眠症 ④腹痛 ⑤幻覚	2003/1/21 ~1/22	①2003/1/24 ②2003/1/23 ③2003/1/23 ④2003/1/24 ⑤2003/1/24	-	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)投与開始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜は服用にて本剤投与を中止。 2003/1/24 (10:00)幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。アロファル5.0mg経口投与開始。 2003/1/28 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファル5.0mg投与終了。	251
313	B06026663	40	年	女性	不思議の国のアリス 症候群	①2007/3/15 ②2007/3/15 ③2007/3/18 ④2007/3/18 ⑤2007/3/17	2007/3/15	x	No	-	30~50分	No	-	Yes	No	No	No	-	ウイルス性 肺炎	2007/3/14 発熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰りタミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的早く浮腫「とても気分がよい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウキウキして室内を歩いていたところ「鳥が見えた」(幻覚)。これに誘われるように4Fベランダまで降りてマンション4Fに出て下を見たところ、「鳥がとてつもなく大きかった」。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に類する。夫にみとめられ布団に隠され車を停めた。(22:00)就寝。(翌日9:00)起床。 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。不思議の国のアリス症候群回復。 2007/3/17 (22:00)就寝。(翌日9:00)起床。 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院にこの件が報告され、チンカ生研製インフルエンザZCF法(伊)にて16倍の抗体価を測定した。	252
314	B08026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	2007/2/28	-	x	No	-	-	解熱後	No	No	No	-	No	不明	2007/2/28 37.6℃の発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、36.7℃に熱は下がり回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の自分に気付く。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一瞬飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機が閉まっているのに気付かず、踏切が閉まっているのに気付かず、急激な興奮発現。屢々、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分は興奮を感じる。症状は声がかれと鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自覚するのか、今の自分はなんとなくかわかると言っていた。 不明 意識障害回復。	253

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
 ◎：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時期	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	乳児室 外に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与後 等の反応	経路異常 等の反応	経路異常 等の反応	対光による 反応	他剤による 異常な行 動の副作用	異常な行動 の発現 状況	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと云っているのか？)	旧資料No
215	B07000244	48	年 女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20	①② 2007/3/20 ③2007/3/20 ~3/21 ④2007/3/21	○	○	No	No	解熱過程	Yes	-	-	-	-	-	無	①何重も外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③音痴が著しく異常、朝寝起きなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話す。 ④錯乱状態、立てない、失禁あり、呼びかけに返事するが、すぐに大声で騒動する、水分取れない。	254	
216	B06004488	49	年 男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/19 (19日の夜は 不明)	2006/2/19 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/7 期外収縮、不安性心室頻動にて当院循環器科を受診しており、アスピリン、 バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20)受診、39℃の発熱、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミフル 75mg×2/日を投与(〜2/18)、不安、精神神経系の症状はみられなかった。2/20に子供 がインフルエンザAに罹患している為、インフルエンザAだったと推定される(確定診断 していない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれぬまま外出した。 2006/2/20 捜索願いを警察に出される。自宅より50km離れた海の岸で車を発見。 人が海に落ちた痕跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。	255	
217	B06026847	49	年 男性	自殺企図	2007/02	2007/02	知方1週間 後	○	Yes	-	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	(観動脈血検 査)	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に発熱。 2007/3/9 (06:00)自殺企図。首をつらうとしたのを家族が発見、観動脈血検を抽 したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたは不明。現在、 精神科に入院中。	256
218	B05025724	51	年 男性	①自殺企図 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①6:30 ②未記載	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①・②無	不明 本剤投与。精神症状の顕い発現。 2006/3/1 救急外来に来院。肺動脈圧測定(肺動脈圧)に伴う慢性呼吸不全に感 冒を合併したため、観察・酸素療法目的で入院。体温:38.1℃、血圧:120/82mmHg、脈 拍:149/分、呼吸:40/分、SPO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/6 体温:38.1℃、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、病室内でインフルエンザに感染。(18:00頃)下腿の しびれ感などの合併があり、夜間の病室に於いて全般的な不安を訴えていた。(18:00頃) 体温:38.2℃、鼻粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確定。 発症時自覚所見:発熱(38.2℃)、咳、倦怠感、食思低下、タミフル75mg、ナリドメチド 内服。(22:00)体温:37.3℃ 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病床不在を確認。自殺目的で4階自病室前のペ ランダから飛び降りた。(7:30)自病室前の路上に倒れているのを発見されたが、死亡し ていた。自室のノートに遺書あり。	257
219	B07000264	51	年 男性	意識レベルの低下	2007/2/6	夕	2007/2/6 2007/2/7	19:30 2:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	2007/2/6 (6:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)、タミフル、プレシリン、グロリ アミン投与。受診後、出陣。(翌)タミフル75mg、プレシリン1回服用。(夕方)40℃程の発熱に より、タミフル75mg、プレシリン1回服用。(19:30)ぐっすり眠り、また身体が痛く動けな くなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)回復の車で8病院に受診。インフルエンザ検査(-)、以後本剤服用せ ず。回復の車で8病院から8病院へ転院を試みる。移動中に車から道路に出ようとし、 危険だったのでは8病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車で8病院から病院へ出発。 (11:30)病院到着。到着時、患者は意識にならず、点滴を外そうとしたら意識は普通で はなかった。不穏状態、JCS3、入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。	258
220	B07000076	54	年 男性	①意識 ②不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	-	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	尿・便失禁後、便の上に立ったリベッドの上に乗る等の行動。	259
221	B08027574	55	年 女性	意識消失	2009/1/8	1日2回	2009/1/8	7:00	×	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2009/01/08 (11:30) 当院受診。インフルエンザ(A)と診断。本剤75mg×2回/日処方。ボタコール250mL、ネ オラムスリーピー、ムコダイン250mg、ダーゼン10mg、ムコスタ100mg、インジゲン 投与。 (14:00頃)本剤75mg内服。 (15:00頃)本剤75mg内服。 2009/01/09 (7:00頃)意識消失発現。朝食準備中意識消失あり。気がつくに倒れていた。その 後、勝手に口まで歩き再び意識消失し、地面に倒れた。顔面打撲あり。勝手に口まで歩い た記憶もない。本剤中止。 2009/01/10 回復中止後、再発なし。 意識消失の経緯・回復	260	
222	B05020017	56	年 男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から2hr 後	-	No	-	-	Yes	解熱後	Yes	No	-	No	No	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日 一2/21) 2005/2/21 夜服用後2時間後に突然うつ状態になり自覚したくなる。窓から飛び降りた くなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしく本剤を自発的に中止。	260
223	B05024386	58	年 男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AMS:00	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	無	2006/1/28 近衛にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前 に10mgずつ内服。 2006/1/29 (2:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸器出現。家人が声をかけたが、振り払い 暴れたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受 診。来院後、意識が戻りそこから記憶があり、処置を行い経過観察目的で入院。以後 は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは回復なく、呼吸器も消失。気促反も回復し た。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。	261

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期		異常な行動発現時期		試薬中か否か (試薬中○、 試薬中じやない×)	寛解後 後に発現	試薬中の場 合、試薬時 期から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚覚悟症 等の既往	聴覚覚悟 症等の家族 歴	発熱に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 性	異常な行動 に起因する 原因	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)	旧資料No	
						2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13 7:00	2007/3/13 7:00															
324	B07000263	58	年	男性	意識障害状態 譫妄	2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13 7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	-	-	No	無	262		
325	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	-	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	不明	263		
326	B07019905	60	年	女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2/日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から明らかに異常な行動を申し立てた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。		
327	B07018337	61	年	女性	異常行動	2007/4/2	-	2007/04/02	不明	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/04/02 関節痛、鼻炎症状、発熱のため受診。 A型インフルエンザと診断。本剤 2T/day x 3日分処方。 本剤1錠服用後、数時間(正確な時間は不明)経過したとき、横断歩道にて待機中、信号は赤であるにも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまい歩道になった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。		
328	B08028415	61	年	女性	異常行動	2008/1/18~ 2008/1/19	1日2回	2008/1/16	-	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	-	2008/01/18 入院受診。インフルエンザ確定診断実施。インフルエンザ抗原Aが検出され、本剤 75mg×2回/日投与(～2008/01/19)。 (本剤服用後30分～1時間後)精神障害(医師重篤度:非重篤)、行動異常(医師重篤度:非重篤)発現。わわっている状態から起き出し、歩きまわる、ぶつぶつ一人言葉を言ったり、手で腹をたたきながら歌ったりする。 (医師)同様なことがある。 (処方後)副作用は再発。平熱時に本剤を服用しても同様の症状が現れる。本人の自覚はしつとしていられなくなるなど。また、熱いので窓を開けて外を見たら、4階に住んでいるのに芝生が1階に住んでいるように上昇して見えた。 2008/01/19 精神障害の経過:回復 行動異常の経過:回復	
329	B08028146	62	年	女性	異常行動	2008/1/20	-	2008/1/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/20 入院受診。インフルエンザと診断。本剤処方 2008/01/22 (夜)異常行動(医師重篤度:不明)発現。知らない間に歩き回った(隣のマンションにいた)。 異常行動の経過:不明		
330	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2008/2/17 2/18~2/19	夕 朝-夕	2008/2/18	日中	-	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	-	No	自殺企図	(2008/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2008/2/24)落ち着かない様子あり。 (2008/2/28)死にたい、死んでくれと言い、落ち着かない。 (2008/3/1) 年前体調不良を訴える。ボートとしているが、落ち着かない。 (2008/3/1) 17:00通夜送迎の家の玄関に灯油を置き、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、経過は回復されている。	264
331	B05018850	67	年	女性	劇症肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	不明、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00	2005/11/18 2005/11/18	夜 一	-	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	-	-	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(38.9℃)、咽頭痛(+)、悪寒(+)、悪寒(+)、 2005/11/10 受診。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 11/14)。 2005/11/14 処方受診。X-PT正常、熱(-)、便潜(+)、HCV(-)、HbA1c(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア:186、APTT:48.7秒、プロトロンビウム時間:21.8秒、HA抗体:16MI、全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/16 夜間、嘔吐(内容不明)あり。 2005/11/17 全身黄染著明、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感継続。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血漿交換のために一時他院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。	265



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
 ○：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中ではない×)	発熱 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	起床までの 時間	一服りして 完全回復	経過	患者の記憶	継続投与 後の発熱	継続投与 後の発熱	発熱による 異常行動	発熱による 異常行動	異常な行動の 具体的な内容 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように言っているのか？)	日資料No
332	B08030324	69	年	男性	異常行動	2009/2/5 午後 2009/2/6 午前・午後	2009/2/7 1:00 2009/2/8 不明 2009/2/9 0:00	○	-	-	-	No	解熱後	Yes	No	-	-	No	2009/02/04 本剤75mg×1回/日服用(～2009年2月8日)。 2009/02/07 (1:00頃)異常行動発現。一人芝のベンチを徘徊する患者を家族が発見。(翌日記 憶なし)。 (日中)幻覚発現。虫や人の幻覚。家の壁にムカデ、ゴキブリが無数にいるとの幻覚。 家族より修正されても修正不能だった。発熱、腹痛、嘔気嘔吐は認めない。 2009/02/08 (時刻不明)寝室に居る軍医の軍人が右手拍きをする幻覚が出現。(軍人の幻覚はその 後も度々続き、後半は会話していた)。 (22:00頃)自宅の2階の自室にて就寝されるのを家族が確認した。 2009/02/09 (0:00頃)2階に居たはずの患者が突然玄関で家族に見えられた。大きな怪我はない ものの顔面外傷、四肢打撲痕があり顔や衣服に泥がついており顔もみられたこと から、どうやら泥から転落の飛び降りて受傷した様子。 (2:00)救急車で当院に搬送。インフルエンザ陽性あるいは薬剤の影響を疑い各 科検査実施。 検査結果、vital所見に異常はなく、意識状態はsimple orderは入るものの、意識清明とは 言えず、受傷時の記憶、またその日の記憶があいまいであった。 インフルエンザ検査で陽性であった。 2009/02/10 (朝)幻覚持続。その後効果。以後幻覚は消失したままであった。その間、発熱等は認 めなかった。 2009/02/11 幻覚症状は消失	
333	B06011534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1 ①15:00 ②20:00	2006/4/1 ①17:00 ②22:00	×	-	2時間	少なくとも8 時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	-	①(17:00) 覚醒後、自動車運転。 用家の車より家が近づくと走らぬ、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫 に車を止められ、車を走らせぬ、自宅に戻るも不安定で座敷がとれぬとのこと。 ②(20:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡機能障害(持続時間:5時間)。 ③2006/04/01(22:00)覚醒。突然、目覚めをしようとする動作あり。家人が話しかけると 「目覚めをしよう」と。また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られ た。 2006/04/02(22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。	266
334	B06017551	71	年	女性	譫妄	①2006/3/2 3/3～3/6 ②2006/3/7	①2006/3/6 ②23:00	-	No	約1時間	30分～1時 間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	2006/2/26 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲 低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱、腎臓痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT-38.5 ナノ0.5g経口 服用。嘔吐、呼吸苦もあり。酸素経鼻でIL開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型 にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(～3/7朝)アミノプリン180mg(400mg)で開 始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ。食欲低下続く。1割ほど摂取。下腿の痛み、関節 痛、背筋痛は軽減。(8:00)KT-37.2 2006/3/6 食事摂取は1～3割。発熱はしずむが、発熱なし。(8:00)38.7。(20:00)37.2。 (23:00)失禁。部屋からでてこようとしているが、点滴が4Aにはさまっている。ナースが 付き添いトイレへ。着くまで見に行くと間に合わなくてズボンを脱いでいる。夜間せ ん妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (8:00)昨日は普通になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまい掃除機 よると思った。シャツを脱ぎながら歩いていて、床にうずくまって泣いていた。今は しゃべっている。食欲低下はまだあるため3～5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。 2006/3/7 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PAE 3錠/日、カロナール 600mg/日投与開始。 2005/2/28(22:40)突然大きいびくと共に倒れた。(23:00)救急車で来院。意識障 害を認め、ホリゾンIV、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中 止。 2005/3/1(1:00)病後へ入院。(4:00)意識、全身相対性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK自由、GOT、LDH上昇あり。精液(ウィーン)1000mL(～3/6)、アミノフリード 500mL(～3/20)施行。 2005/3/2(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 発熱、意識障害回復。退院。 2005/2/9 (12:30)38℃の発熱で入院。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤10mg 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用量の経口は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明後日まで 記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (8:22)起床から電話。部屋をひっかき回したように荒らしてある。ストーブ 燃焼しベッドに灯油がまいてある。本人は灯油を右側に持っている。顔面の打撲あり。 解熱まで経口の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。	267
335	B05000692	72	年	男性	①自覚 ②意識レベルの低 下	2005/2/25 ～2/28	2005/2/28 22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/28(22:40)突然大きいびくと共に倒れた。(23:00)救急車で来院。意識障 害を認め、ホリゾンIV、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中 止。 2005/3/1(1:00)病後へ入院。(4:00)意識、全身相対性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK自由、GOT、LDH上昇あり。精液(ウィーン)1000mL(～3/6)、アミノフリード 500mL(～3/20)施行。 2005/3/2(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 発熱、意識障害回復。退院。 2005/2/9 (12:30)38℃の発熱で入院。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤10mg 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用量の経口は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明後日まで 記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (8:22)起床から電話。部屋をひっかき回したように荒らしてある。ストーブ 燃焼しベッドに灯油がまいてある。本人は灯油を右側に持っている。顔面の打撲あり。 解熱まで経口の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。	268
336	B05000675	72	年	男性	譫妄	2005/2/9 2005/2/9 2/10～2/12	2005/2/9 21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	2005/2/9 (12:30)38℃の発熱で入院。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤10mg 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用量の経口は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明後日まで 記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (8:22)起床から電話。部屋をひっかき回したように荒らしてある。ストーブ 燃焼しベッドに灯油がまいてある。本人は灯油を右側に持っている。顔面の打撲あり。 解熱まで経口の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。	269

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時	観察中か否か (観察中○、 観察中じゃない×)	家族 環境に 変化あり	観察中の場 合、観察時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	精神異常情 等の出現	他薬服用 等の家 族歴	先に 対応する 反応	他剤による 「異常な行 動」の判 別	異常な行動 に関する 理由	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか？)	出資料No	
337	B08016131	73	年	男性	異常行動	2006/8/1	12:00	2006/8/1	23:00	×	-	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	2006/08/01 (13:00)本剤75mg内服。体温37.5℃ (23時頃)異常行動発現。病棟静置し、不眠状態出現。理解力も普段に比へば低い状態であった。「家に帰ると訴える。 2006/08/02 (午前4時)再度も起き上がり、再度「家に帰ると訴える。職員が安全性の面からも病室管理を要す。理解力低下。不眠状態を呈す。 (午後)送別実施。寛容が少しおかしとのこと。本剤服用控える。その後帰宅を希望されつづける。 2006/08/04 家族と連絡がとれ、熱もさがった。 異常行動の転帰：回復		
338	B05024268	74	年	不明	①異常行動 ②大腸骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10	朝・夕	2/10 2/11~12	夜間~未明	×	No	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(置床不規則)。継続し、インフルエンザが疑われる。 2006/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がしがたが結果的に2台車で確保された。 2006/2/12 家族がうたを聴きたすきに、2階より飛び降りて大腸骨骨折。(Dr:寝ていないのではないか。現在治療のため入院中。 2002/3この頃、被害妄想(幻覚)化して他院治療。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/3 状態が安定化したため、当院に入院。レボチン10mg/日、パキシル30mg/日投与開始。 2003/1/2 (8:00)体温38.0℃。倦怠感、(6:00)体温38.1℃。倦怠感、筋痛。上気道症状(鼻水、咽頭痛、咳嗽)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、インフルエンザ感染症を疑いタミフル2カプセル分を5日分処方。(20:00)体温37.1℃、倦怠感、筋痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃。倦怠感、筋痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)鼻水をかけ、道をあげゴソゴソしている。意味不明語。妄想、不眠あり。体温37.2℃。倦怠感、筋痛。夜間徘徊あり。そのほか、顔面赤らみ、目つきが怪しく、目が覚めない。タミフルは継続。(13:20)チバス0.5mg3錠/日(分3)投与開始。少しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 チバス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	270	
339	B02013397	79	年	女性	①落ち着きのなさ ②妄想	2003/1/2~ 1/6	1日2回	2003/1/4	1:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抑うつ神経症			
340	B06016893	63	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	朝 晩 朝 晩 朝	2006/1/10	10:00	×	No	-	34時間	No	発現時のみ 発熱あり	-	-	-	-	落ち着きのない。やや興奮気味。「これはいや。帰るからいらん」と顔面紅潮させる。点滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もういらんわ。別にもう帰れず」と何を言っているかわからない。不眠状態あり。ゼイゼイしながら、熱い熱いと目を拭いていた。病棟内をうろち。隣の患者のベッドに乗り込み、何かいると、とても怖がる様子。看護士がなだめると、ほろほろと泣く。何を言おうと、他の患者のところに居座る。状況を直す、距離をとると、意味不明発言あり、徘徊。	272	
341	B06025119	63	年	男性	異常行動	2007/2/7	朝	2007/2/7	12:00	×	No	-	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(〜2/6)。 2007/2/6 (20~21:00)眠醒。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(昼)病院に入院した。睡眠不足はなし。車の運転が大好きで当日、妻と人乗中だったの病院へ自分で車を運転して行くつもりだったが、インフルエンザにかり、寒熱が出ていた(当日は熱はなかったにもあり、家の人に連絡を止められ車を立て、妻と歩いて、軽トラか何かで家の周りを、数回まわっていたらしい。(12:00)徘徊行動出現。除菌剤(スチロゲン)で手を洗った。(16:30)嘔吐とけいれん出現。家人に助けを求め、除菌剤を服用したことを告白し、ホケットに除菌剤のボトルを入れて持っていた。(18:45)意識消失。(19:00)緊急車で治療へ搬送され、治療を受けた。入院。意識なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快。回復。 2007/2/28 回復。 2007/2/28 退院。	273	
342	B08027729	84	年	女性	異常行動	2009/1/3~ 2009/1/5	1日2回	2009/1/3	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/03 A型インフルエンザ治療のため本剤75mg×2回/日投与開始(〜2009/01/05)。 異常行動(歩行異常(非常速)発現。歩中に倒れて、「仏壇に金を取りに行く」と言って出口を閉鎖。外に出る出口を閉鎖した。不眠症も数日続いていた。 2009/01/07 異常行動の転帰：回復		
343	B03008735	65	年	女性	全健忘	2003/12/28 ~12/28	1日2回	2003/12/28	1:00	-	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	No	2003/12/28 悪寒寒戦。体温40℃。救急車で当院受診。上咽頭結膜のインフルエンザA抗原陽性。脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2、補液開始。 2003/12/28午後 平熱になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊、ミオクローヌスなし。(9:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を呼んで「アタ、タスキに居るん、(お)してんじやないか？」と話す。(14:00)患者の息子を話し合い、インフルエンザが治ったこと、「一過性全健忘で治ると思われることを根拠に自宅へ退院。(16:00)前日までの記憶が戻り、29日未明~退院までの記憶が欠如。入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見て「アタ、タスキに居るん、(お)してんじやないか？」と話す。	274
344	B05024865	65	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5	1日2回	①2006/2/5 ②2006/2/6 ③2006/2/7	①夕方 ②朝 ③1:30	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	①悪寒寒戦で意識不明なことを話す(話が聞きえるようになった等)。 ②相手は誰か、今どこにいるか、質問してもわからない。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンス等を押しつけて出てた。	275	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 発熱 発熱	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	体温	発熱の経過	精神状態 等の悪化	呼吸器 等の悪化	消化器 等の悪化	他による 異常な行動 の副作用 原因	異常な行動の 具体的な内容 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよとどう言っているのか？)	旧資料No	
345	B04027261	90	年	女性	譫妄	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	2005/3/12 18:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1994年 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、発熱あり。 2005/03/10 (15:00)外来受診。インフルエンザB型性、肺炎と心不全、腎不全増悪あり。入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤。ムコロン、喉水の処方を行い一日帰宅。 2005/03/11 (11:20)入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00)点滴注射、せん妄発現。 2005/03/13 (0:40)意味不明の言動。(19:00)拒食、興奮、職員への暴力。(20:50)ゼレネース1A im。 2005/03/14 (15:00)覚醒度不良、意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中健忘。夜間は良眠。 2005/03/18 ロセフィン投与中止。 2005/03/19 (15:00)つつまの合わない発話が始まる。 2005/03/20 (15:00)せん妄症状、以前の状態へ回復。	276	
346	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2008/2/15 2/16~2/17	夕 朝・夕	①2008/2/18 ②2008/2/19 ③2008/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/2/14 夕方より発熱38.3℃、せき、鼻水 2008/2/15 (15:00)熱38.4℃。(17:00)尿便。2日間接触のあった者がインフルエンザ だったことが判明した為、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確定診断は 行っていない)、帰宅後タミフル1カプセル服用。 2008/2/16 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2008/2/17 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2008/2/18 (1:00)夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。高中止。幻覚症状続く。興奮 状態。 2008/2/19 (4:30)朝、大きな声が出るので見ると部屋のサツが倒れて着衣をくもら れないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を握める(原因不明)。伊便後 ベッドに入る。(7:00)朝食のため呼びに行くと、また外へ出たままだった。幻覚あり。履 き取った後、寝たように起き続ける。時々水分を取らせると熱縮。(20:30)夕食。手を 握る。トイレ時、下着が上げられない。 2008/2/20 (10:00)尿便。左手首ねんざ。両下肢に打撲傷。握り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	277	
347	B05001178	94	年	男性	腎臓出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27 17:00	-	No	-	-	No	No	No	No	No	1995/12/25 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後)38.5℃の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と診断。 (16:00)入院。38.4℃(17:30)38.4℃。タミフル1cap、ロキソニ1錠服用。タミフル、ロキソ ニンは1回のみ。(21:00)BT38.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不眠)行動の詳細は不明。個室であり、3月27日曜日であった。少し認知 症の気があった。吐しゃ物の尿血反応検査(陽性)出血量としては極少量。この病 点から尿血が出血があったかは疑問。(17:00)不穏な行動あり。その後尿血(尿血反応 +)(18:00)一時覚まっていたが、嘔吐、気分不快なく同日夕食を介して摂取した。 (この時にはタムル便なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分量摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15)タムル便中等 量。胃部痛あり。そのため減食。(22:20)発熱の下血多量(タムル便)、顔色不良。その後 も下血続いていた。翌日胃カメラを予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸数増加。血圧低下、呼吸人工呼吸器装着。(3:00)血圧低下。 (3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。	278	
348	B07013381	94	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2007/3/29 夜間	×	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発熱時の自覚各症状として発熱(38.5℃)、頭痛、 関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(〜3月31日 朝まで投与)。夜間 異常行動(非重篤)発現。訳のわからない発話とともに廊下に出て行ってしまう。 異常行動は回復。その後は特に異常行動はなかった。	
349	B08027728	30代	年	女性	異常行動	2009/1/15~ 2009/1/18	-	2009/1/15 夜	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	2009/01/15 インフルエンザ治療のため本剤投与開始(〜2009/01/18)。体温38.4℃。 異常行動(医師重篤度:不明)発現。夜に熱が出て、トイレに行き出たところから記憶が ない。トイレから出てきた後、家の中を走り回り、テレビ台に衝突し、怪我をした。医師 を呼びよしかつたの問いかけに「知らない」と答え、原因不明の腹痛もあったがその まま就寝。その際の記憶もない。 2009/01/19 異常行動の経過:不明		
350	B07000403	小児		女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っついて離れない」2時間くらい 揺れ、母とおばがしばらく声をかけてこなかったとの報告を受けた。もともと患者は 精神科に通っている。	280	
351	B07013378	小児		男性	異常行動	-	-	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣の発症あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、患者さんだけ、家の中を走り回る など異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。	281	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 \*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒高 体温に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	聴視覚情動 等の反応	聴視覚情 動等の異常 反応	知覚に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動 に陥る原因 不明	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようだと言っているのか？)	田資料No
						2007/3/2	不明	2007/3/2	-														
352	B07000208	青少年		男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)逆行中の車からの飛び出し、異常行動(非重篤)発現、異常行動回復。	282
353	B07027776	不明		男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	-	不明日 インフルエンザ治療のため、本剤を5日処方。1日目の2カプセル目を飲んだところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに横たっていて、気がつくときから出血していた。知らない間にトイレのタンクを壊していた。水浸しに気づかず、異常行動。手から血が出ていた。発現。その後服用を継続したが、異常行動はなかった。異常行動 回復。	

異常な行動が記録されている事例の集計  
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

平成21年6月16日安全対策調査会  
 資料6-3

平成21年6月3日タミフル臨床WG  
 資料4-3

1. 異常な行動の発現症例：年齢別  
 患者年齢別①

年齢	症例数	(%)
10歳未満	138	40
10代	161	46
20代	8	2
30代	6	2
40代	5	1
50代	8	2
60代	7	2
70代	7	2
80代	5	1
90代	4	1
小計	349	100
不明	4	
総計	353	

患者年齢別②

年齢	症例数	(%)
6歳以下	53	15
7歳から9歳	85	24
10歳から12歳	75	21
13歳から15歳	65	19
16歳から18歳	17	5
19歳以上	54	15
小計	349	100
不明	4	
総計	353	

2. 異常な行動の発現症例：性別

性別	症例数	(%)
男性	251	72
女性	97	28
小計	348	100
不明	5	
総計	353	

### 異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

#### 3. 異常な行動の発現症例：インフルエンザウイルス型別

ウイルス型	症例数	(%)
A型インフルエンザ	197	56
A&B型インフルエンザ	5	1
B型インフルエンザ	80	23
型不明	46	13
不明	22	6
予防*	3	1
総計	353	100

\* 予防症例2例の内訳

- 1) 咳、咽頭痛、関節痛、38℃台の発熱と記載されている。
- 2) インフルエンザ疑いの記載あり
- 3) 鎮咳剤・抗生剤等併用の記載あり

#### 4. 異常な行動の発現時期別

【年別】		
発現年度	症例数	(%)
2001	2	1
2002	5	1
2003	12	3
2004	10	3
2005	27	8
2006	69	20
2007	178	51
2008	23	7
2009	20	6
小計	346	100
不明	7	
総計	353	

#### 【シーズン別】

発現シーズン	症例数	(%)
2000-2001シーズン	2	1
2001-2002シーズン	5	1
2002-2003シーズン	11	3
2003-2004シーズン	11	3
2004-2005シーズン	17	5
2005-2006シーズン	78	23
2006-2007シーズン	170	49
2007-2008シーズン	25	7
2008-2009シーズン	27	8
小計	346	100
不明	7	
総計	353	

シーズン：8月から7月

異常な行動が記録されている事例の集計  
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

5. インフルエンザ発症から異常な行動の発現までの病日

患者年齢別①

病日	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
1日	52	47	49	38	13	30			114	40
2日	40	36	46	36	7	16			93	33
3日	12	11	19	15	8	19			39	14
4日	4	4	3	2	8	19			15	5
5日	2	2	5	4	4	9			11	4
6日以上	1	1	6	5	3	7			10	4
小計	114	100	128	100	43	100	0		282	100
不明	27		33		7		4		71	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

病日	6歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		18歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
1日	21	48	31	46	24	44	20	36	5	36	13	28			114	40
2日	11	25	29	43	21	38	20	36	4	29	8	17			93	33
3日	8	18	4	6	6	11	10	18	2	14	9	19			39	14
4日	3	7	1	1	2	4	1	2			8	17			15	5
5日	1	2	1	1	1	2	2	4	1	7	5	11			11	4
6日以上			1	1	1	2	2	4	2	14	4	9			10	4
小計	44	100	67	100	55	100	55	100	14	100	47	100	0		282	100
不明	9		18		20		10		3		7		4		71	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

6. 最初の投与から異常な行動の発現までの時間  
患者年齢別①

初回服用から異常行動発現までの時間	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
1時間未満	5	8	4	6	2	13			11	7
1時間以上2時間未満	8	12	8	11	1	7			17	11
2時間以上3時間未満	9	14	12	17	2	13			23	15
3時間以上4時間未満	9	14	11	15					20	13
4時間以上5時間未満	4	6	3	4	1	7			8	5
5時間以上6時間未満	7	11	2	3					9	6
6時間以上12時間未満	10	15	16	23	2	13			28	18
12時間以上24時間未満	7	11	11	15	3	20			21	14
24時間以上48時間未満	5	8	1	1					6	4
48時間以上	2	3	3	4	4	27			9	6
小計	66	100	71	100	15	100	0		152	100
不明	72		90		35		4		201	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

初回服用から異常行動発現までの時間	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
1時間未満	2	10	3	7	3	9	1	3			2	11			11	7
1時間以上2時間未満	2	10	6	13	6	19	1	3			2	11			17	11
2時間以上3時間未満	1	5	8	18	4	13	6	19	2	40	2	11			23	15
3時間以上4時間未満	4	19	5	11	6	19	4	13			1	6			20	13
4時間以上5時間未満	3	14	1	2	1	3	2	6			1	6			8	5
5時間以上6時間未満	1	5	6	13	1	3	1	3							9	6
6時間以上12時間未満	3	14	7	16	8	25	7	23	1	20	2	11			28	18
12時間以上24時間未満	1	5	6	13	2	6	8	26	1	20	3	17			21	14
24時間以上48時間未満	2	10	3	7	1	3									6	4
48時間以上	2	10					1	3	1	20	5	28			9	6
小計	21	100	45	100	32	100	31	100	5	100	18	100	0		152	100
不明	32		40		43		34		12		36		4		201	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	



異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

7. 直前の投与から異常な行動の発現までの時間

患者年齢別①

直前服用から異常行動発現までの時間	10歳未満 (%)	10代 (%)	20代以上 (%)	不明 (%)	合計 (%)
1時間未満	9	6	2		17
1時間以上2時間未満	13	11	1		25
2時間以上3時間未満	13	19	1		34
3時間以上4時間未満	13	19	2		30
4時間以上5時間未満	4	5	1		10
5時間以上6時間未満	8	11			10
6時間以上12時間未満	9	13	5		29
12時間以上	1	1	2		7
小計	70	78	14	0	162
不明	68	83	36	4	191
総計	138	161	50	4	353

患者年齢別②

直前服用から異常行動発現までの時間	6歳以下 (%)	7歳から9歳以下 (%)	10歳から12歳以下 (%)	13歳から15歳以下 (%)	16歳から18歳以下 (%)	19歳以上 (%)	不明 (%)	合計 (%)
1時間未満	3	6	5	1		2		17
1時間以上2時間未満	5	8	9	1		2		25
2時間以上3時間未満	1	12	6	10	4	1		34
3時間以上4時間未満	5	8	6	8		3		30
4時間以上5時間未満	3	1	2	3		1		10
5時間以上6時間未満	2	6	1	1				10
6時間以上12時間未満	2	7	7	8		5		29
12時間以上		1		2	1	3		7
小計	21	49	36	34	5	17	0	162
不明	32	36	39	31	12	37	4	191
総計	53	85	75	65	17	54	4	353

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

8-1. 異常な行動の発現の直前の体温(6時間前以内)

患者年齢別①

異常な行動の発現前の体温	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
34度台			1	2					1	1
35度台	1	2	1	2					2	2
36度台	1	2							1	1
37度台	4	7	3	6	2	25			9	8
38度台	19	35	21	45	2	25			42	39
39度台	19	35	18	38	2	25			39	36
40度台	9	17	3	6	2	25			14	13
41度台以上	1	2							1	1
小計	54	100	47	100	8	100	0		109	100
不明	84		114		42		4		244	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

異常な行動の発現前の体温	6歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
34度台					1	4									1	1
35度台	1	4					1	6							2	2
36度台			1	3											1	1
37度台	3	13	1	3	1	4			1	33	3	27			9	8
38度台	9	38	10	33	11	44	7	44	2	67	3	27			42	39
39度台	9	38	10	33	9	36	8	50			3	27			39	36
40度台	1	4	8	27	3	12					2	18			14	13
41度台以上	1	4													1	1
小計	24	100	30	100	25	100	16	100	3	100	11	100	0		109	100
不明	29		55		50		49		14		43		4		244	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

異常な行動が記録されている事例の集計  
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

B-2. 異常な行動の発現時の体温の経過

患者年齢別①

体温	10歳未満 (%)	10代 (%)	20代以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)			
発熱持続	53	67	74	73	5	22	132	65
解熱過程	25	32	25	25	14	61	64	32
解熱後	1	1	2	2	4	17	7	3
小計	79	100	101	100	23	100	203	100
不明	59	60	27	4			150	
総計	138	161	50	4			353	

患者年齢別②

体温	5歳以下 (%)	7歳から9歳以下 (%)	10歳から12歳以下 (%)	13歳から15歳以下 (%)	16歳から18歳以下 (%)	19歳以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)						
発熱持続	23	74	30	63	36	75	33	75	4	50	6	25	132	65
解熱過程	8	26	17	35	11	23	10	23	4	50	14	58	64	32
解熱後			1	2	1	2	1	2			4	17	7	3
小計	31	100	48	100	48	100	44	100	8	100	24	100	203	100
不明	22	37	27	21	9	30	4	150			4			
総計	53	85	75	65	17	54	4	353						

異常な行動が記録されている事例の集計  
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

9. 異常な行動の発現時刻別  
 患者年齢別①

副作用発現時刻	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
0-6時	15	16	30	27	7	29			52	23
6-12時	6	6	10	9	5	21			21	9
12-18時	32	34	33	30	3	13			68	30
18-24時	40	43	38	34	9	38			87	38
小計	83	100	111	100	24	100	0		228	100
不明	45		50		26		4		125	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

副作用発現時刻	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
0-6時	3	10	12	19	12	23	16	34	1	11	8	30			52	23
6-12時	2	6	4	6	4	8	5	11	1	11	5	19			21	9
12-18時	11	35	21	34	19	37	10	21	3	33	4	15			68	30
18-24時	15	48	25	40	17	33	16	34	4	44	10	37			87	38
小計	31	100	62	100	52	100	47	100	9	100	27	100	0		228	100
不明	22		23		23		18		8		27		4		125	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

1.0. 就寝から異常な行動までの時間

患者年齢別①

就寝から発現までの時間	10歳未満 (%)	10代 (%)	20代以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)				
1時間未満	9	38	8	26	1	17	18	30	
1時間以上2時間未満	3	13	7	23	1	17	11	18	
2時間以上3時間未満	7	29	5	16	2	33	14	23	
3時間以上4時間未満	1	4	2	6	1	17	4	7	
4時間以上5時間未満	2	8	1	3			3	5	
5時間以上	2	8	8	26	1	17	11	18	
小計	24	100	31	100	6	100	0	61	100
不明/就寝中でない	114		130		44		4	292	
総計	138		161		50		4	353	

患者年齢別②

就寝から発現までの時間	5歳以下 (%)	7歳から9歳以下 (%)	10歳から12歳以下 (%)	13歳から15歳以下 (%)	16歳から18歳以下 (%)	19歳以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)							
1時間未満	2	29	7	41	7	37	1	9	1	17	18	30			
1時間以上2時間未満	2	29	1	6	5	26	1	9	1	100	1	17	11	18	
2時間以上3時間未満	1	14	6	35	1	5	4	36			2	33	14	23	
3時間以上4時間未満	1	14			1	5	1	9			1	17	4	7	
4時間以上5時間未満	1	14	1	6			1	9					3	5	
5時間以上			2	12	5	26	3	27			1	17	11	18	
小計	7	100	17	100	19	100	11	100	1	100	6	100	0	61	100
不明/就寝中でない	46		68		56		54		16		48		4	292	
総計	53		85		75		65		17		54		4	353	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

1.1. 異常な行動の発現が就寝中か否か

患者年齢別①

就寝中	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
Yes	59	66	62	66	12	44			133	63
No	31	34	32	34	15	56	1	100	79	37
小計	90	100	94	100	27	100	1	100	212	100
不明	48		67		23		3		141	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

就寝中	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
Yes	20	54	39	74	30	65	24	67	7	70	13	45			133	63
No	17	46	14	26	16	35	12	33	3	30	16	55	1	100	79	37
小計	37	100	53	100	46	100	35	100	10	100	29	100	1	100	212	100
不明	16		32		29		29		7		25		3		141	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

1.2. 異常な行動の発現が覚醒直後か否か

患者年齢別①

覚醒直後に発現	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
Yes	48	65	54	58	10	42			112	59
No	26	35	39	42	14	58			79	41
小計	74	100	93	100	24	100	0		191	100
不明	64		68		26		4		162	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

覚醒直後に発現	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
Yes	18	56	30	71	28	64	17	46	7	78	12	44			112	59
No	14	44	12	29	16	36	20	54	2	22	15	56			79	41
小計	32	100	42	100	44	100	37	100	9	100	27	100	0		191	100
不明	21		43		31		28		8		27		4		162	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

異常な行動が記録されている事例の集計  
 (注: 複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

参考) 11と12のクロス集計

		覚醒後に発現したか						
		Yes (%)		No (%)		小計	不明	総計
就寝中に発現したか	Yes (%)	95	91	6	12	101	32	133
	No (%)	94	9	46	88	100	24	79
	小計	104	100	52	100	156	56	212
	不明	8		27		35	106	141
	総計	112		79		191	162	353

13. 異常な行動が一眠りして回復したか否か

患者年齢別①

一眠後完全回復	10歳未満 (%)	10代 (%)	20代以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)				
Yes	64	74	93	82	12	46	169	75	
No	22	26	20	18	14	54	56	25	
小計	86	100	113	100	26	100	0	225	100
不明	52		48		24		4	128	
総計	138		161		50		4	353	

患者年齢別②

一眠後完全回復	5歳以下 (%)	7歳から9歳以下 (%)	10歳から12歳以下 (%)	13歳から15歳以下 (%)	16歳から18歳以下 (%)	19歳以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)							
Yes	22	67	42	79	43	83	38	79	10	100	14	48	169	75	
No	11	33	11	21	9	17	10	21	15	52			56	25	
小計	33	100	53	100	52	100	48	100	10	100	29	100	0	225	100
不明	20		32		23		17		7		25		4	128	
総計	53		85		75		65		17		54		4	353	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

1.4. 異常な行動に関する患者の記憶の有無

患者年齢別①										
患者の記憶	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
有	4	7	28	26	15	43			47	24
無	52	93	79	74	20	57			151	76
小計	56	100	107	100	35	100	0		198	100
不明	82		54		15		4		155	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

患者の記憶	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
有	1	5	3	8	12	24	14	33	2	18	15	39			47	24
無	19	95	33	92	39	76	28	67	9	82	23	61			151	76
小計	20	100	36	100	51	100	42	100	11	100	38	100	0		198	100
不明	33		49		24		23		6		16		4		155	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	

1.5. 光に対する反応の有無

患者年齢別①										
光に対する反応	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
有	1	2	2	3					3	2
無	45	98	63	97	14	100			122	98
小計	46	100	65	100	14	100	0		125	100
不明	92		96		36		4		228	
総計	138		161		50		4		353	

患者年齢別②

光に対する反応	5歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		16歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)		総計 (%)	
有	1	6			1	3	1	4							3	2
無	17	94	28	100	33	97	22	96	5	100	17	100			122	98
小計	18	100	28	100	34	100	23	100	5	100	17	100	0		125	100
不明	35		57		41		42		12		37		4		228	
総計	53		85		75		65		17		54		4		353	



異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

1.6. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の既往歴の有無

睡眠時驚愕症等の既往	症例数	(%)
有	17	9
無	175	91
小計	192	100
不明	161	
総計	353	

1.7. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の家族歴の有無

睡眠時驚愕症等の家族歴	症例数	(%)
有	2	1
無	151	99
小計	153	100
不明	200	
総計	353	

1.8. 異常な行動の回復までの時間

患者年齢別①

回復までの時間	10歳未満 (%)	10代 (%)	20代 (%)	不明 (%)	総計 (%)
30分未満	35	56	5	1	97
30分以上60分未満	10	16	3		29
1時間以上6時間未満	19	25	4		48
6時間以上24時間未満	17	5	4		26
24時間以上	6	4	8		18
未回復	4	9	8		21
小計	91	115	32	4	239
不明	47	46	18	3	114
総計	138	161	50	7	353

患者年齢別②

回復までの時間	5歳以下 (%)	7歳から9歳以下 (%)	10歳から12歳以下 (%)	13歳から15歳以下 (%)	16歳から18歳以下 (%)	19歳以上 (%)	不明 (%)	総計 (%)
30分未満	15	20	26	23	6	6	1	97
30分以上60分未満	3	7	11	5		3		29
1時間以上6時間未満	6	13	10	10	3	6		48
6時間以上24時間未満	6	10	3	3		4		26
24時間以上	4	2	2	2		8		18
未回復	1	3	1	7	1	8		21
小計	35	55	53	50	10	35	1	239
不明	18	30	22	15	7	19	3	114
総計	53	85	75	65	17	54	4	353

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

1.9. 異常な行動が発現した後に投与を継続した症例の状況

患者年齢別①

再投薬による再現性の有無	10歳未満 (%)		10代 (%)		20代以上 (%)		不明 (%)	総計 (%)	
再現性あり(注)	15	25	13	27	3	20		31	25
再現性なし	44	75	36	73	12	80		92	75
小計	63	100	49	100	15	100	0	123	100
不明/その他	89		112		35		4	230	
総計	138		161		50		4	353	

患者年齢別②

再投薬による再現性の有無	6歳以下 (%)		7歳から9歳以下 (%)		10歳から12歳以下 (%)		13歳から15歳以下 (%)		15歳から18歳以下 (%)		19歳以上 (%)		不明 (%)	総計 (%)	
再現性あり(注)	7	36	8	26	8	29	4	38	1	29	3	19		38	29
再現性なし	16	64	28	74	20	71	10	63	5	71	13	81		92	71
小計	23	100	36	100	28	100	14	100	6	100	16	100	0	130	100
不明/その他	31		49		47		51		11		38		4	223	
総計	53		85		75		65		17		54		4	353	

(注) 精神神経症状の異常も含む有害事象が複数回発現しているもの

## 異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

### 2.0. 他剤による同様な副作用歴の有無

他剤による既往歴	症例数	(%)
有	8	4
無	213	96
小計	221	100
不明	132	
総計	353	

### 2.1. 熱性痙攣の既往歴の有無

熱性痙攣の既往歴	症例数	(%)
有	11	15
無	64	85
小計	75	100
不明	278	
総計	353	

### 2.2. 熱性痙攣の家族歴の有無

熱性痙攣の家族歴	症例数	(%)
有	4	10
無	36	90
小計	40	100
不明	313	
総計	353	

### 参考1. 主な併用薬剤の内訳

別紙参照のこと

### 参考2. 既往症・合併症

別紙参照のこと

## 異常な行動が記録されている事例の集計

### 参考1. 主な併用薬剤の内訳

催眠鎮静剤, 抗不安剤	その他の催眠鎮静剤, 抗不安剤	5
	ベンゾジアゼピン系製剤	9
	有機ブロム化合物製剤	1
計		15
抗てんかん剤	その他の抗てんかん剤	6
計		6
解熱鎮痛消炎剤	アスピリン・ダイアルミネート <sup>注3)</sup>	1
	アニリン系製剤	109
	サリチル酸系製剤	2
	その他の解熱鎮痛消炎剤	18
	フェニル酢酸系製剤	5
	塩基性消炎鎮痛剤	4
計		139
抗パーキンソン剤	アマンタジン製剤	1
	ピベリデン製剤	1
計		2
精神神経用剤	その他の精神神経用剤	9
	フェノチアジン系製剤	2
計		11
総合感冒剤	非ピリン系感冒剤 (2) <sup>注3)</sup>	1
	非ピリン系感冒剤 (3) <sup>注3)</sup>	1
	非ピリン系感冒剤 (4) <sup>注3)</sup>	17
計		19
その他の中枢神経系用薬	塩酸ドネペジル <sup>注3)</sup>	1
計		1
眼科用剤	その他の眼科用剤	2
計		2
耳鼻科用剤	その他の耳鼻科用剤	2
	耳鼻科用抗生物質製剤	1
計		3
鎮暈剤	その他の鎮暈剤	1
計		1
強心剤	カフェイン系製剤	3
計		3
不整脈用剤	その他の不整脈用剤	1
計		1
利尿剤	その他の利尿剤	3
	チアジド系製剤	1
	抗アルドステロン製剤	1
計		5

異常な行動が記録されている事例の集計

薬剤分類	薬剤群名(薬剤分類)	件数
血圧降下剤	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	1
	その他の血圧降下剤	7
	メチルドパ製剤	1
	ラウオルフィア製剤	1
計		10
血管収縮剤	塩酸ミドドリン <sup>註3)</sup>	1
計		1
血管拡張剤	冠血管拡張剤	9
計		9
高脂血症用剤	その他の高脂血症用剤	1
計		1
その他の循環器官用薬	塩酸セベラマー <sup>註3)</sup>	1
	D-マンニトール <sup>註3)</sup>	1
	ポリステレンスルホン酸カルシウム <sup>註3)</sup>	2
	酒石酸イフェンプロジル <sup>註3)</sup>	2
計		6
鎮咳剤	エフェドリン及びマオウ製剤	4
	その他の鎮咳剤	39
	デキストロメトर्फェン製剤	21
	計	
去たん剤	システイン系製剤	75
	その他の去たん剤	38
	ブロムヘキシシン製剤	8
	植物性製剤	3
計		124
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	69
	植物性製剤	6
計		75
気管支拡張剤	イソプレナリン系製剤	2
	キサンチン系製剤	5
	サルブタモール製剤	1
	その他の気管支拡張剤	24
計		32
含嗽剤	アズレンスルホン酸ナトリウム <sup>註3)</sup>	2
	アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム <sup>註3)</sup>	1
	ポビドンヨード <sup>註3)</sup>	2
計		5
その他の呼吸器官用薬	プロピオン酸フルチカゾン <sup>註3)</sup>	3
計		3
止しゃ剤、整腸剤	活性生菌製剤	18
計		18
消化性潰瘍用剤	H2遮断剤	2
	その他の消化性潰瘍用剤	25
計		27
健胃消化剤	その他の健胃消化剤	2
計		2
制酸剤	無機塩製剤	3
計		3

異常な行動が記録されている事例の集計

薬剤分類	薬剤名	数
下剤, 浣腸剤	その他の下剤, 浣腸剤	1
	植物性製剤	3
計		4
利胆剤	胆汁酸製剤	1
計		1
その他の消化器用薬	他に分類されない消化器用薬	16
計		16
脳下垂体ホルモン剤	その他の脳下垂体ホルモン剤	1
計		1
甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	抗甲状腺ホルモン製剤	1
	甲状腺ホルモン製剤	2
計		3
副腎ホルモン剤	コルチゾン系製剤	1
	フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	1
	プレドニゾン系製剤	2
計		4
その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。)	すい臓ホルモン剤	1
計		1
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	塩酸タムスロシン <sup>(注3)</sup>	2
計		2
外皮用殺菌消毒剤	ヨウ素化合物	1
計		1
ビタミンA及びD剤	合成ビタミンD製剤	1
計		1
ビタミンB1剤	ビタミンB1誘導体制剤	1
計		1
ビタミンB剤 (ビタミンB1剤を除く。)	パントテン酸系製剤	1
計		1
ビタミンC剤	アスコルビン酸 <sup>(注3)</sup>	1
	アスコルビン酸・L-システイン <sup>(注3)</sup>	1
計		2
ビタミンK剤	メナテトレノン <sup>(注3)</sup>	1
計		1
混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。)	その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。)	2
計		2
無機質製剤	鉄化合物製剤 (有機酸鉄を含む。)	1
計		1
糖類剤	ブドウ糖製剤	1
計		1
たん白アミノ酸製剤	その他のたん白アミノ酸製剤	1
計		1

異常な行動が記録されている事例の集計

薬効小分類	薬剤語名 (薬効細分類)	集計
血液代用剤	その他の血液代用剤	13
計		13
止血剤	抗プラスミン剤	12
計		12
血液凝固阻止剤	ジクマロール系製剤	3
計		3
その他の血液・体液用薬	他に分類されない血液・体液用薬	8
計		8
痛風治療剤	アロプリノール製剤	2
計		2
酵素製剤	その他の酵素製剤	21
計		21
糖尿病用剤	ビグアナイド系製剤	1
	糖尿病用剤	1
計		2
他に分類されない代謝性医薬品	他に分類されないその他の代謝性医薬品	1
計		1
抗ヒスタミン剤	その他の抗ヒスタミン剤	59
	トリベレナミン系製剤	1
	フェノチアジン系製剤	12
計		72
その他のアレルギー用薬	エバスチン <sup>(注3)</sup>	1
	オキサトミド <sup>(注3)</sup>	3
	フマル酸エメダスチン <sup>(注3)</sup>	1
	フマル酸ケトチフェン <sup>(注3)</sup>	6
	برانルカスト水和物 <sup>(注3)</sup>	2
	ベシル酸ベポタスチン <sup>(注3)</sup>	1
	ペミロラストカリウム <sup>(注3)</sup>	1
	モンテルカストナトリウム <sup>(注3)</sup>	3
	ラマトロバン <sup>(注3)</sup>	1
	ロラタジン <sup>(注3)</sup>	1
	塩酸アゼラスチン <sup>(注3)</sup>	1
	塩酸エピナスチン <sup>(注3)</sup>	2
	塩酸セチリジン <sup>(注3)</sup>	3
	塩酸フェキソフェナジン <sup>(注3)</sup>	1
計		27

## 異常な行動が記録されている事例の集計

漢方製剤 <sup>注2)</sup>	桂麻各半湯 <sup>注3)</sup>	1
	柴胡桂枝湯 <sup>注3)</sup>	1
	小青竜湯 <sup>注3)</sup>	1
	麻杏甘石湯 <sup>注3)</sup>	1
	麻黄湯 <sup>注3)</sup>	3
計		7
主としてグラム陽性菌に作用するもの	リンコマイシン系抗生物質製剤	1
計		1
主としてグラム陰性菌に作用するもの	アミノ糖系抗生物質製剤	1
計		1
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	オキサセフェム系抗生物質製剤	1
	セフェム系抗生物質製剤	23
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	1
	ペニシリン系抗生物質製剤	4
計		29
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	エリスロマイシン製剤	1
	その他の主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	23
計		24
合成抗菌剤	ピリドンカルボン酸系製剤	5
計		5
抗ウイルス剤	アシクロビル <sup>注3)</sup>	1
計		1
矯味、矯臭、着色剤	シロップ製剤	1
計		1
他に分類されない治療を主目的としない医薬品	医療用酸素 <sup>注3)</sup>	1
計		1
あへんアルカロイド系麻薬	コデイン系製剤	1
計		1
Unknown drug (不明薬) <sup>注4)</sup>		29

注1) 医薬品データファイルVer2008.08.19を使用した

注2) 薬効中分類

注3) 一般名

注4) 併用薬剤のうち、医薬品コードの特定されていないもの



## 異常な行動が記録されている事例の集計

### 参考2. 既往症・合併症

集計用疾患名	既往症	合併症	計
貧血		1	1
特発性血小板減少性紫斑病		1	1
鉄欠乏性貧血		1	1
心房細動		2	2
心不全		1	1
慢性心不全		1	1
冠状動脈瘤		1	1
期外収縮		1	1
洞不全症候群		1	1
停留精巣	1		1
血友病		1	1
甲状腺腫大		1	1
アレルギー性結膜炎	1	1	2
糖尿病性失明		1	1
糖尿病性網膜症		1	1
腹痛		1	1
便秘	1	2	3
消化不良		1	1
胃潰瘍	1		1
慢性胃炎		1	1
胃炎		1	1
単径ヘルニア	1		1
左側単径ヘルニア	1		1
右側単径ヘルニア	1		1
発熱		1	1
不明熱		1	1
胆砂		1	1
肝炎		1	1
肝障害		1	1
アトピー		1	1
アレルギー	1	1	2
花粉症	1	2	3

## 異常な行動が記録されている事例の集計

集計用疾患名	既往症	合併症	計
虫垂炎	1		1
喘息様気管支炎	1	1	2
気管支炎		1	1
急性気管支炎		2	2
喘鳴を伴う気管支炎		1	1
糖尿病性壊疽		1	1
ウイルス性脳炎	1		1
インフルエンザ	23		23
A型インフルエンザウイルス感染	4	1	5
B型インフルエンザウイルス感染	2		2
麻疹	1		1
髄膜炎	1		1
流行性耳下腺炎	1		1
感冒	1	1	2
中耳炎		1	1
急性中耳炎		1	1
慢性中耳炎		1	1
滲出性中耳炎		1	1
咽頭炎		1	1
肺炎		2	2
マイコプラズマ性肺炎	1		1
耳下腺炎	1		1
副鼻腔炎		2	2
結核後遺症		1	1
陳旧性結核	1		1
上気道感染		1	1
ウイルス性下痢	1		1
ウイルス性筋炎		1	1
細菌感染		1	1
レンサ球菌感染	1	1	2
ウイルス性発疹		1	1
突発性発疹	1		1

## 異常な行動が記録されている事例の集計

集計用疾患名	既往症	合併症	計
A型肝炎	1		1
扁桃炎	1	1	2
熱射病	1		1
外傷		1	1
脱水		1	1
糖尿病		3	3
成長障害		1	1
高クレアチニン血症		1	1
腰部脊柱管狭窄症	1		1
骨粗鬆症		1	1
胃癌		1	1
頸動脈血栓症	1		1
脳梗塞		3	3
認知症		2	2
脳炎		1	1
髄膜炎	1		1
てんかん		2	2
熱性痙攣	9	1	10
熱性痙攣発作	1		1
脳動脈瘤	1		1
精神遅滞		2	2
片頭痛	1		1
異常興奮	1		1
うつ病		4	4
抑うつ神経症	1	1	2
不眠症		2	2
強迫性障害		1	1
統合失調症		1	1
夜驚症	1		1
睡眠時驚愕	2		2
睡眠時遊行症	5		5
夢遊症	1		1

## 異常な行動が記録されている事例の集計

集計用疾患名	既存症	合併症	合計
自殺企図	1		1
かんしゃく発作	1		1
幻覚	1	1	2
異常行動	1		1
痙攣	1		1
腎不全		2	2
慢性腎不全		3	3
腎機能障害		1	1
喘息	5	3	8
気管支喘息	3	9	12
喘息性気管支炎	1	1	2
慢性呼吸不全	1	1	2
過呼吸	1		1
アレルギー性鼻炎		1	1
喘鳴		1	1
小児喘息		1	1
上気道の炎症	1		1
アトピー性皮膚炎	3	2	5
大動脈瘤	1		1
高血圧		5	5
高脂血症		1	1
気管支喘息		2	2
川崎病後冠動脈瘤 <sup>注2)</sup>		1	1
川崎病 <sup>注3)</sup>	1		1

注1) 一部を除きMedDRA/J Version11.0 LLT日本語名称を使用した

注2) MEDIS病名コード

注3) 医師記載名称

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-07000156	第4報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄     新医薬品等の区分 該当なし
最新情報入手日	2008年10月17日		第一報入手日	2007年03月20日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの ◎ その他の医学的に重要な状態	報告された死因 (死亡の場合)			
副作用	30日	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴					
発現国 (情報源)	日本 (日本)								
患者略名	S. A.	体重 Kg		インフルエンザ					
性別	女性								
年齢	14歳		曝露時の妊娠期間						

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量		投与期間		医薬品使用理由
					投与量/回	回数	開始日	終了日	
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	CAP	75mg/1回	1日	07/03/18	07/03/18	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
重・重	異常行動 (異常行動 (夜中急に走り出して倒れた))	異常行動		07/03/19	07/03/19			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

TAMIFLU  
身長、体重不明。  
2007/03/18  
患者は部活の遠征先で、インフルエンザを発症。  
(夕方)他院処方により、本剤75mg投与。  
2007/03/19  
(夜中・午前中)異常行動 (夜中急に走り出して倒れた) 発現。  
(発現10分後)異常行動回復。  
当院受診。  
【異常行動に関する追加調査結果】  
異常行動は睡眠から覚醒した直後に起こったものである: はい  
数時間 (または数分) 単位で回復した: はい (10分で回復)  
異常行動は発熱持続中、それとも解熱過程で起こったか?: 発熱持続中  
患者本人の「異常行動に関する記憶」はあった: いいえ  
睡眠時驚愕症、睡眠時遊行症の既往、家族歴: なし  
光をまぶしがったり、明るくするとさらに興奮したりした: 不明  
再び一眠りした後、完全に回復した: はい  
他剤による「異常な行動」の副作用歴: なし

MedDRA

Version (11.1)

(様式第2 (二))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

2 / 5

識別番号・報告回数	B-07000156	第4報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし
担当医等の意見			報告企業等の意見		
情報なし。			詳細情報が不足しているため、本剤と本事象との関連性は評価困難である。		
今後の対応					
<p>今後とも同様の副作用の収集に努め、評価していく。 なお、2007年3月20日、警告欄に「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除けば、原則として本剤の使用を差し控えること。 また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがあること、(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。」を記載し、緊急安全性情報を配布し医療関係者に注意喚起を行った。</p>					
送信者による診断名／症候群及び／又は副作用／有害事象の再分類			第一次情報源により報告された副作用／有害事象		
			異常行動 (夜中急に走り出して倒れた)		
累積報告件数・使用上の注意記載状況等					
<p>本症例は、担当MRの聞き取り情報のみである。早急に追加情報を得ることができないため、一旦完了報告を行った。担当医師の協力が得られないとの情報を入手したため追加報告を行う。</p> <p>1. 使用上の注意の記載状況 (国内) 重大な副作用: 異常行動 (CDS) Psychiatric disorders/Nervous system disorders</p> <p>2. 累積報告件数 2007年4月9日以降の異常な行動: 174件 (本件完了報告時の件数。本件含む。)</p>					
引用文献			資料一覧		
				MedDRA	Version (11.1)

(様式第2 (二))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

2 / 5

識別番号・報告回数	B-07000156	第4報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし
引用文献			資料一覧		
				MedDRA	Version (11.1)

(様式第2 (三))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

検査及び処置の結果

3 / 5

識別番号・報告回数	B-07000156		第4報	一般的名称	リン酸オセルタミビル					該当なし		
検査	単位	正常範囲 低値	正常範囲 高値	不明1								
その他の情報の有無												
診断に関連する検査及び処置の結果												
副作用等に関連のある臨床検査値等を入手できなかった。												

MedDRA Version (11.1)

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

過去の治療歴に関する情報

識別番号・報告回数	B-07000156		第4報	一般的名称	リン酸オセルタミビル					該当なし		
治療歴				関連する過去の医薬品使用歴								
原疾患・合併症・ 既往歴	治療 開始日	治療 終了日	備考	その他の記述情報	医薬品名	開始日	終了日	使用理由	副作用 (発現した場合のみ)			
インフルエンザ		継続	原疾患									

MedDRA Version (11.1)



(様式第2(四))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

評価に関する情報

4 / 5

識別番号・報告回数		B-07000156	第4報	一般的名称		リン酸オセルタミビル		該当なし				
医薬品を入手した国 (承認国)		医薬品販売名 (Lot)		一般的名称		医薬品に対して取られた処置	開始日	終了日	投与開始から発現までの時間間隔	投与終了から発現までの時間間隔	再投与による再発の有無	再投与により再発した副作用名
1.	日本 (日本)	タミフル		リン酸オセルタミビル		投与中止	07/03/18	07/03/18				
評価対象となる副作用／有害事象名				評価の情報源			医薬品と副作用／有害事象の因果関係 (評価方法)		評価結果		医薬品に関するその他情報	
1.	異常行動 異常行動	REPORTER COMPANY							関連あり/Yes 関連あり/Yes	1. タミフル: TAMIFLU		
報告された死因							剖検		剖検による死因			
									MedDRA		Version (11.1)	

(様式第2 (五))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

母子に関する情報

5 / 5

識別番号・報告回数	B-07000156	第4報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし			
関連報告番号	親の年齢		親の身長	親の体重	副作用／有害事象名 異常行動、 異常行動			
親の略名	親の性別	最終月経日	cm	kg				
曝露時の妊娠期間		発現時の妊娠期間						
親の関連する治療歴及び随伴状態				親の関連する過去の医薬品使用歴				
原病	開始日	終了日	備考	医薬品名	開始日	終了日	使用理由	副作用 (発現した場合のみ)
親の関連する治療歴及び随伴状態 (副作用／有害事象を除く)								
				MedDRA		Version (11.1)		

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1/5

識別番号・報告回数	B-07007902	第3報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
最新情報入手日	2008年04月22日		第一報入手日	2007年06月20日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの ◎ 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの ◎ その他の医学的に重要な状態	報告された死因 (死亡の場合)			
副作用	30日	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴					
発現国 (情報源)	日本 (日本)		体重 Kg			インフルエンザ 非喫煙者			
患者略名	M. T.								
性別	女性								
年齢	11歳		曝露時の妊娠期間						新医薬品等の区分 該当なし

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量		投与期間		医薬品使用理由
					投与量/回	回数	開始日	終了日	
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	72mg/1回	1日	07/02/19	07/02/19	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
重・重	痙攣 (痙攣発作)	痙攣発作		07/02/19	07/02/26			回
重・重	異常行動 (異常行動)	異常行動		07/02/19	07/02/26			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

TAMIFLU  
 身長：不明、体重：36kg  
 2007/02/18  
 (夕方)発熱発現。  
 2007/02/19  
 (午前)近医受診。インフルエンザ迅速検査：陰性であったが、インフルエンザ疑いにて本剤処方。  
 (11:00頃)本剤72mg×1/日投与開始。  
 (14:00頃)興奮状態となり、靴を片方持って突然ベランダに飛び出すといった異常行動発現。  
 (15:00)痙攣発作発現。弟が母に連絡。  
 (16:15)母が救急隊要請し、当科外来受診。  
 来院時は意識清明。ダイアップ坐薬10mg挿肛。  
 インフルエンザ迅速検査にてB型陽性。  
 頭部CTは異常なく、髄液検査など施行後、ソリタT3持続、点滴にて経過観察とした。  
 2007/02/20  
 (午前)夜間、BT：40℃まで上昇あり、異常言動出現。  
 (9:00)意識レベル清明。  
 頭部MRI施行し、拡散強調画像で、脳梁膨大部に高信号域を認めた。

MedDRA

Version (11.0)

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-07007902	第3報	関連報告番号	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過							
<p>MRI所見は可逆性（一過性）の病変であった。</p> <p>2007/02/21 (午前)解熱傾向あり。</p> <p>2007/02/25 完全に解熱し、全身状態良好。</p> <p>2007/02/26 当該患者退院。</p> <p>異常行動、痙攣発作回復。 インフルエンザ軽快/回復。 [インフルエンザ確定診断]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本剤投与目的：治療投与</li><li>・インフルエンザ診断日：2007/2/19</li><li>・ウイルス診断の有無：有(FluB) サンプル採取箇所：鼻腔液</li><li>・発症時に認められた自他覚症状：発熱(38.2)</li><li>・本剤服用Point：投与1日目 朝</li></ul> <p>[患者背景]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インフルエンザ既往症：不明</li><li>・本剤以外のインフルエンザ治療薬による治療歴：無</li><li>・睡眠時驚愕症、睡眠時遊行症等の睡眠時の異常に関する既往：患者本人/患者家族 なし</li><li>・熱性痙攣の既往：患者本人 なし、患者家族 あり(兄)</li><li>・熱性疾患による錯乱・熱性せん妄等の既往：なし</li></ul> <p>[異常行動の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・走る、暴れる等の動きを伴いましたか？ はい</li><li>・これらの動きを誰かが制止しましたか？ はい(弟、母)</li><li>・副作用は睡眠中ですか？ いいえ</li><li>・副作用発現内容を患者さんは記憶していますか？ 記憶なし</li><li>・副作用発現時の体温は何度ですか？また発熱持続中ですか？ 38.2度/発熱持続中</li><li>・副作用発現前24時間以内に解熱剤を服用していますか？ いいえ</li><li>・以前ひ同様の副作用を起こしたことがありますか？ いいえ</li><li>・光をまぶしがったり、明るくするとさらに興奮しましたか？ いいえ</li><li>・今回の副作用発現後に入院しましたか？ はい</li><li>・副作用症状精査のため、追加の検査が行われましたか？ はい</li></ul> <p>脳波検査：異常所見なし 頭部CT：異常所見なし 頭部MRI：一過性脳梁膨大部病変を急性期に認めた。</p>							
						MedDRA	Version (11.0)